



始



シントゲン室据附圖集

河本美夫編

50
133

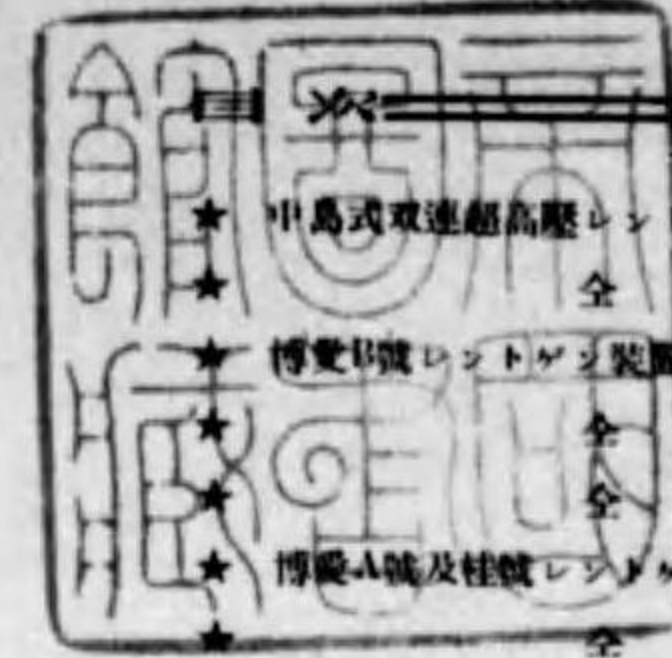
レントゲン
据附圖集

本据附圖集は當社レントゲン工作課設計係に於て作成せる据附圖面より選びたるものにて何れも實際の例なるが故に必ずしも完全なるもの、みを蒐めたるものは云ひ難けれき新たにレントゲン室を作り又は改築せらるゝ場合等の参考ともなれば幸甚なり。

株式 島津製作所 レントゲン部

本 店 京都市區河原町二條南
 東京支店 東京市神田區錦町一丁目
 大阪支店 大阪市北區中之島二丁目
 九州支店 福岡市西中洲
 大連出張所 大連市若狹町
 京城出張所 京城府南大門通二丁目
 台北出張所 台北市本町三丁目

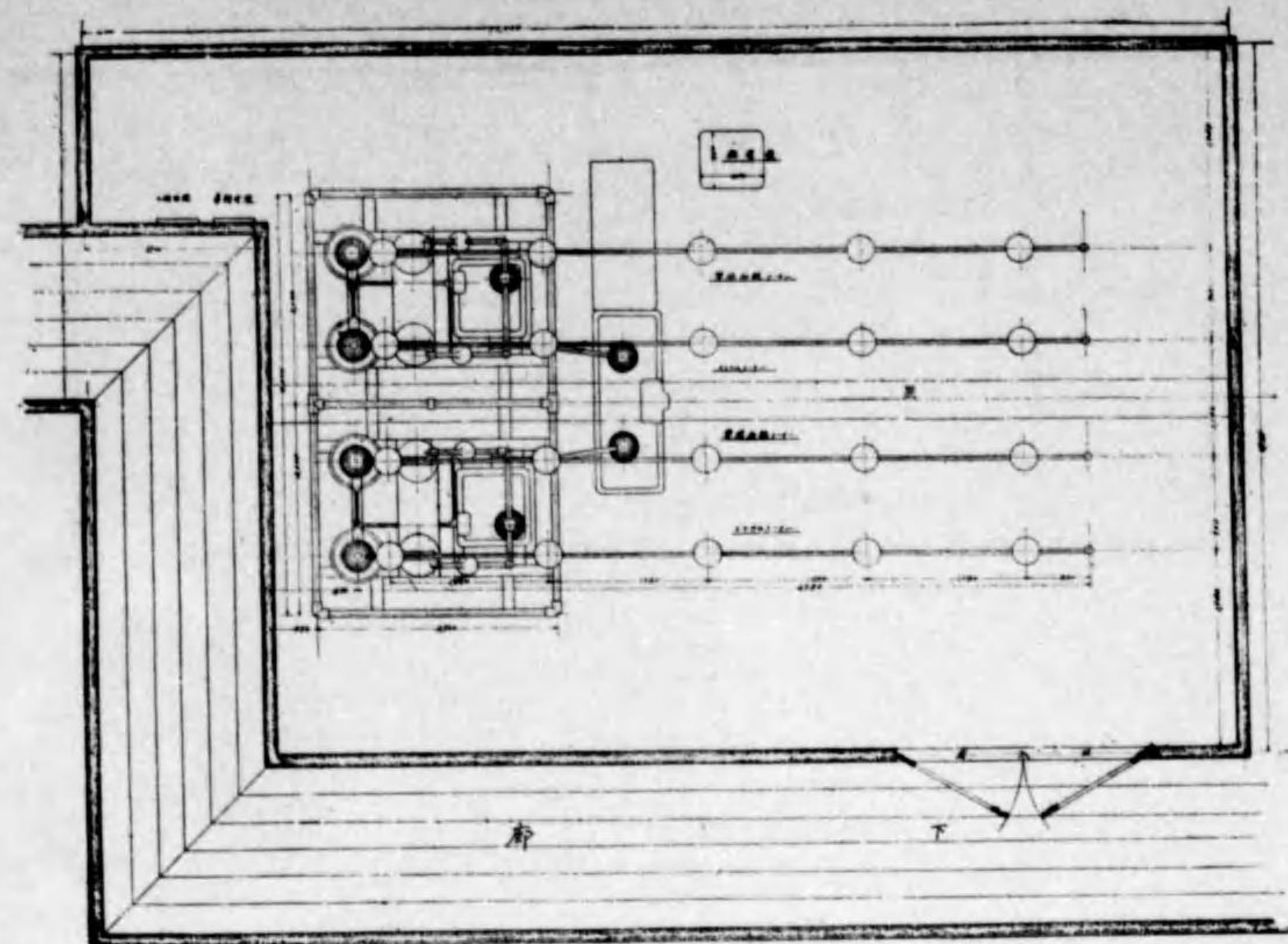
60-133/



★ 川島式双連超高压レントゲン装置 据附圖 (平面圖)	1 頁
全 (側面圖)	2 頁
★ 博愛B號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の一) 3 頁
全 (其の二)	4 頁
★ 博愛A號及柱鏡レントゲン装置 据附圖 (平面圖)	(其の三) 5 頁
全 (側面圖)	6 頁
★ 博愛A號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の一) 8 頁
全 (其の二)	9 頁
★ 博愛C號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	10 頁
★ 平安號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の一) 11 頁
全 (其の二)	12 頁
★ 愛宕號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の一) 13 頁
全 (其の二)	14 頁
★ 全 (其の三)	15 頁
★ ボレスター號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	16 頁
★ スペシャルボレックス號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の一) 17 頁
全 (其の二)	18 頁
★ スペシャルボレックス號及ダイアナ號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の三) 19 頁
★ ダイアナ號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の一) 20 頁
全 (其の二)	21 頁
★ ペンチールダイアナ號レントゲン装置 据附圖 (平面圖)	(其の一) 22 頁
全 (側面圖)	23 頁
★ 全 (平面圖及側面圖)	(其の二) 24 頁
★ ギュノーA號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	25 頁
★ ギュノーB號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	26 頁
★ 柱鏡レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	(其の一) 27 頁
全 (其の二)	28 頁
★ 特型柱鏡レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	29 頁
★ 八坂號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	30 頁
★ 特型八坂號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	31 頁
★ 八坂號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	32 頁
★ スタルク號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	33 頁
★ ギュノーC號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	34 頁
★ 保津號レントゲン装置 据附圖 (平面圖及側面圖)	35 頁
★ 簡單なるレントゲン寫真現像室 (平面圖及側面圖)	36 頁

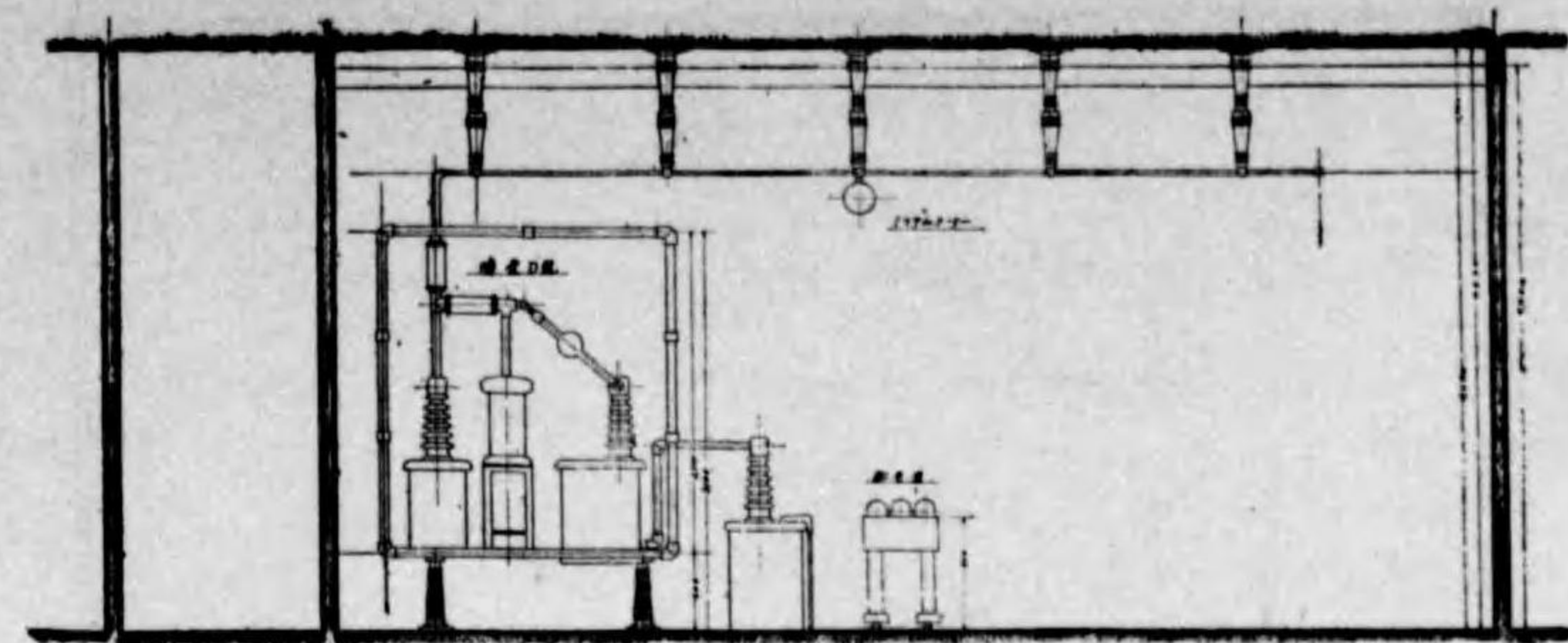
以上





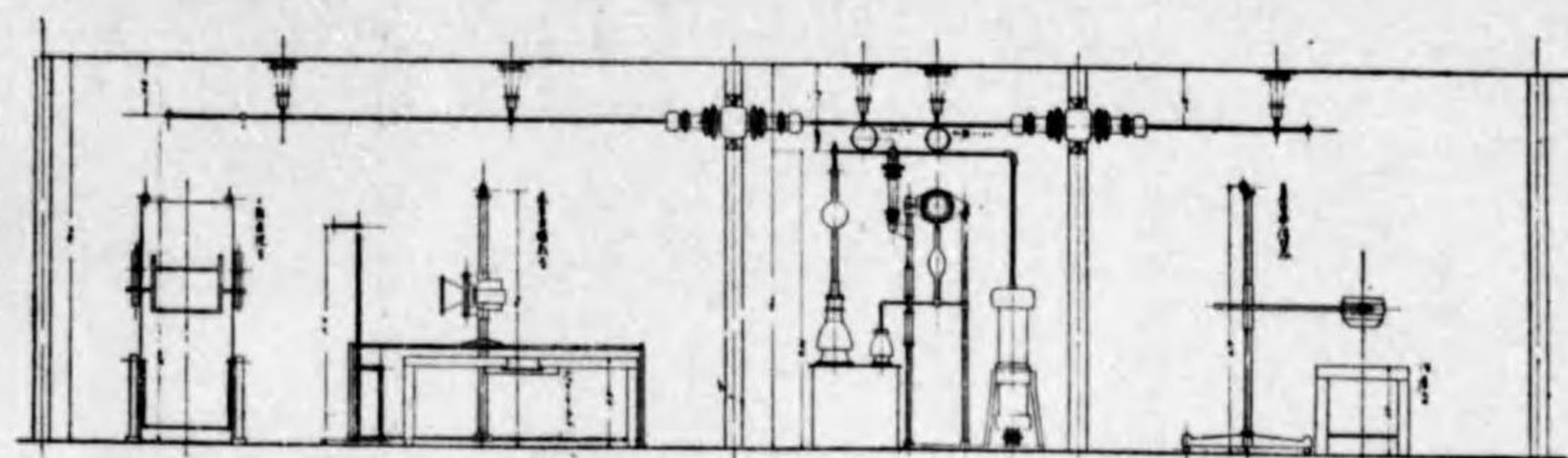
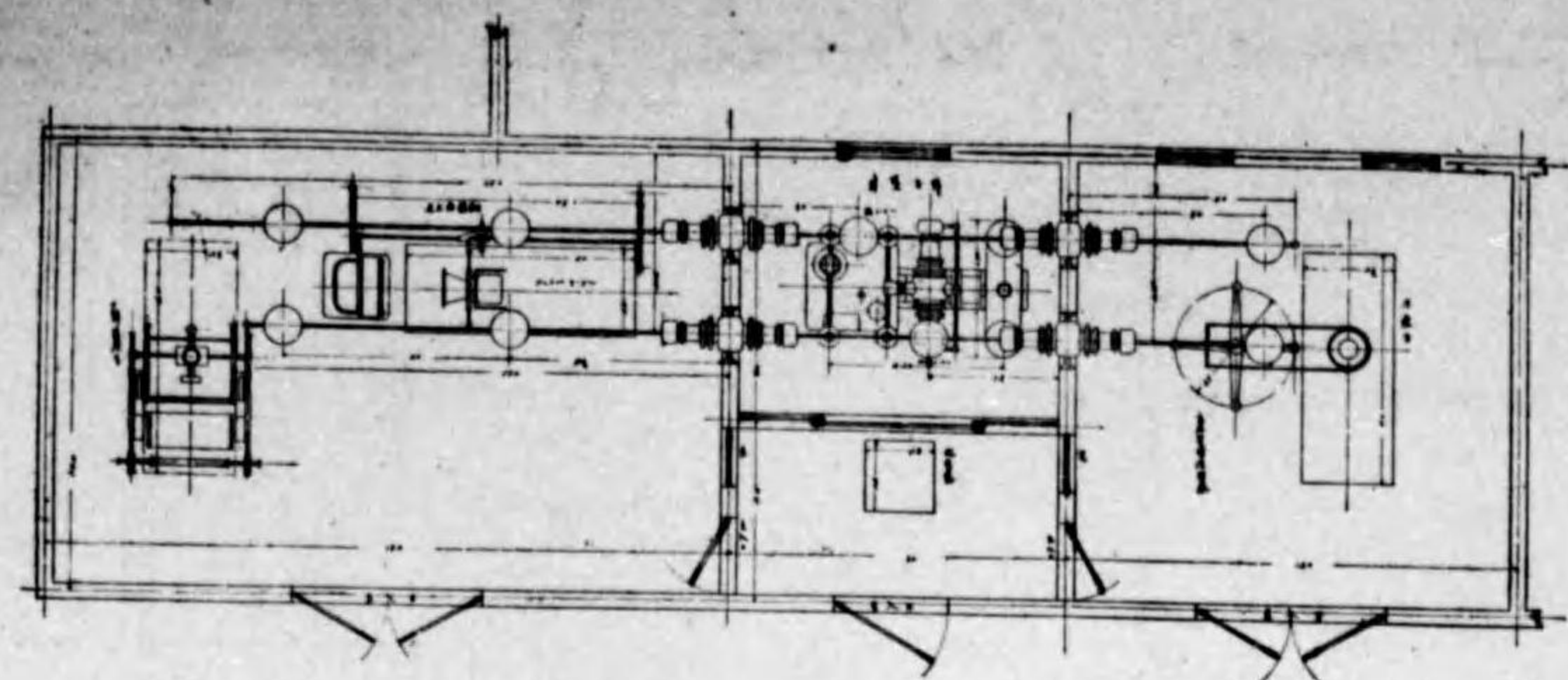
1 中島式双連超高圧レントゲン装置 平面圖 縮尺約 1/50

グライナッヘル氏の接続による定電圧レントゲン装置二台を聯結せる特別なる装置なり。最高電壓230KVのもの二台さしても用ひられ、最高電壓450KVのもの一台さしても用ひらる。此の超高壓に應ずる爲絶縁には特に留意したり。天井の高さ室の廣さはコロナの發生に多大の影響を及ぼすものなるが故に据附上充分なる注意を要す。



2 中島式双連超高圧レントゲン装置 側面圖 縮尺約 1/50

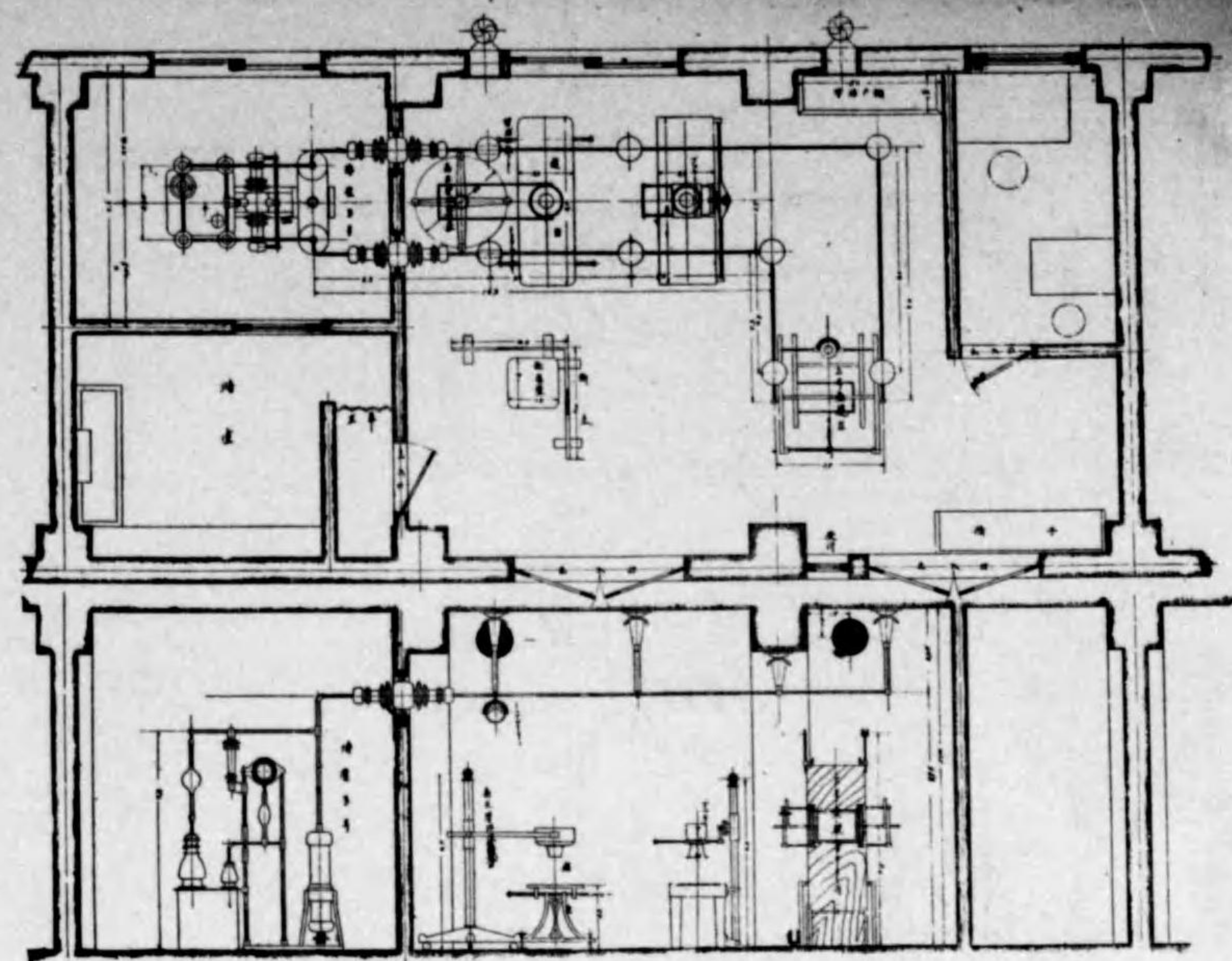
前圖の側面圖なり。装置の各部、架空管、吊下ミリアンメーター等すべてコロナの發生を防止する様設計せられたり。



3 博愛B號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

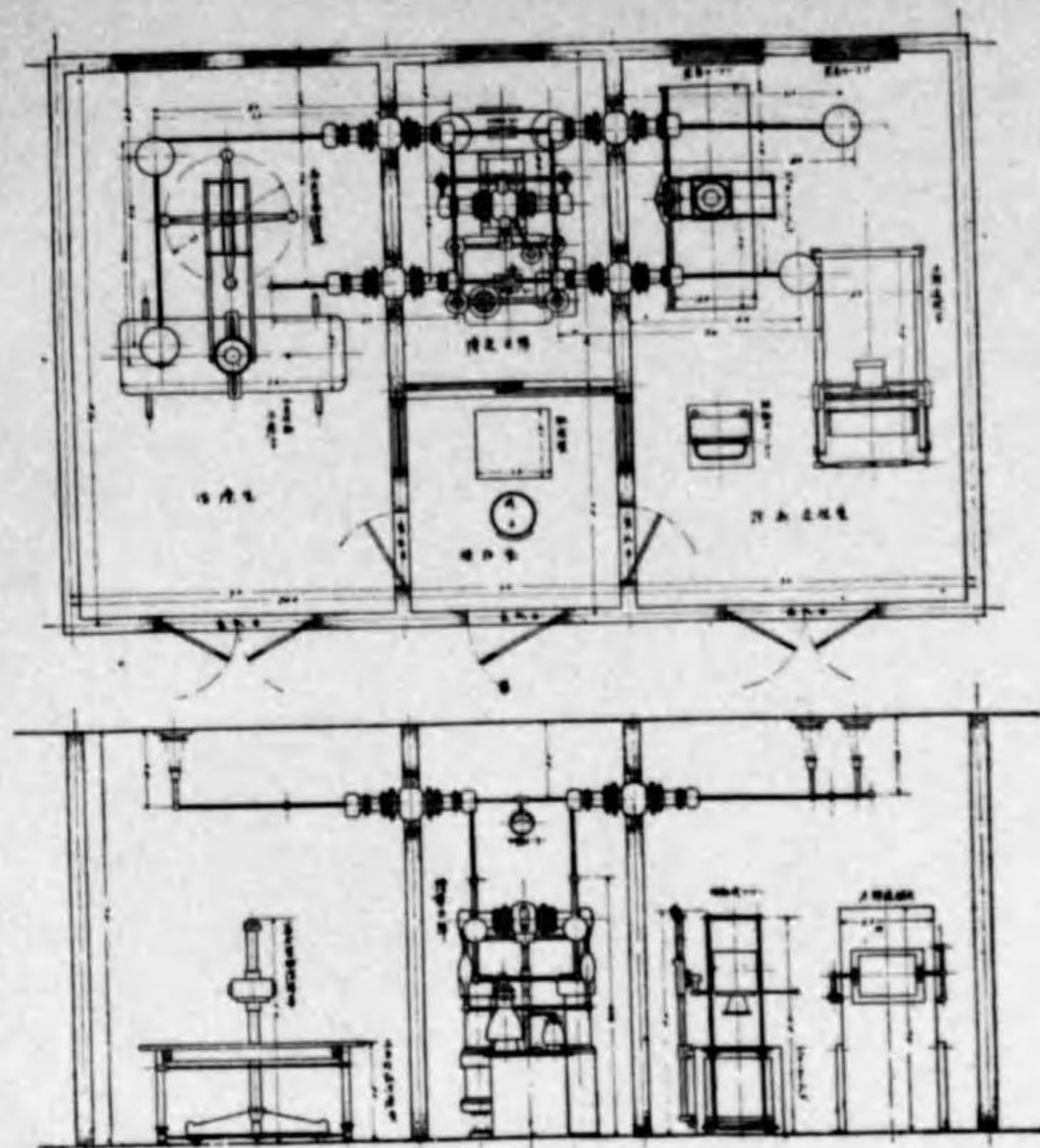
深部治療、診断兼用の博愛B號レントゲン装置を設備し、中央部に機械室及び操作室を、左右に治療室診断室を設けたり。機械室と左右の室を隔つる壁を貫通するブッシング内には加熱變壓器を收容せり。治療室には深部治療用高壓管球保持器と治療台を、診断室にはS號透視装置、遠距離撮影装置及びブッキーテーブルを据付く。操作室には配電盤を置き機械室を監視しつゝ之れを操作し得るに便して隔扉には窓を設けたり。



4 博愛B號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

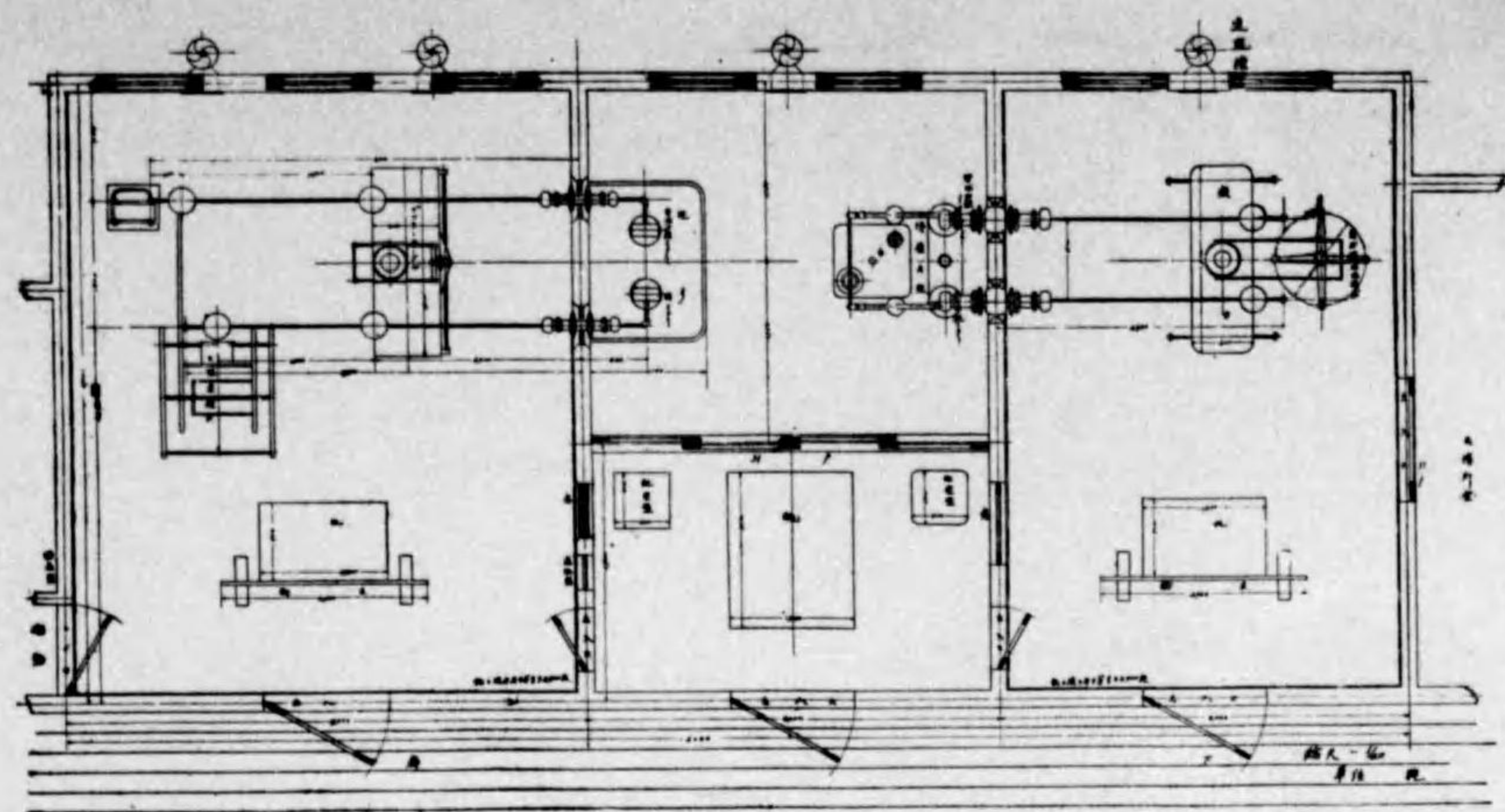
博愛B號レントゲン装置を深部治療、診断の兩目的に用ふべく、深部治療用高壓管球保持器、水平移動式治療台、ブッキーテーブル、S號透視装置を診療室に据附けたり。發生装置は別に機械室を設けて此處に收容し、又機械室に隣接してレントゲン寫眞現像室を設く。外に準備室もあり此の種のレントゲン室としては標準的と言ふべし。向は壁には排氣電氣扇二個を備へて室内の換氣を計り患者のレントゲン宿醉を防ぐ様留意せり。配電盤の兩側に衝立を置けるは操作者がレントゲン線を蒙るを防ぐため必要なる處置なり。



5 博愛B號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

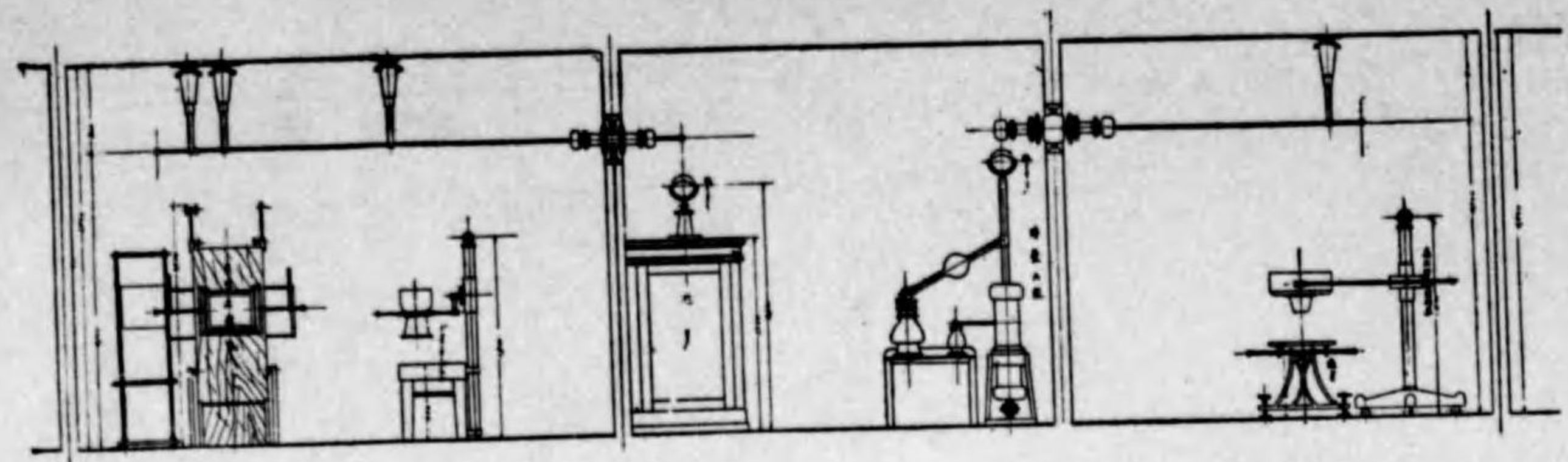
第三圖に於けると同様中央に機械室、操作室を設け、その左右に深部治療室、診断室を置きたるものなり。深部治療室には深部治療用高壓管球保持器及び水平移動式治療台を、診断室にはA號透視装置、ブッキータブル、移動式リーダー氏撮影固定器を据附けたり。



6 博愛A號及桂號レントゲン装置

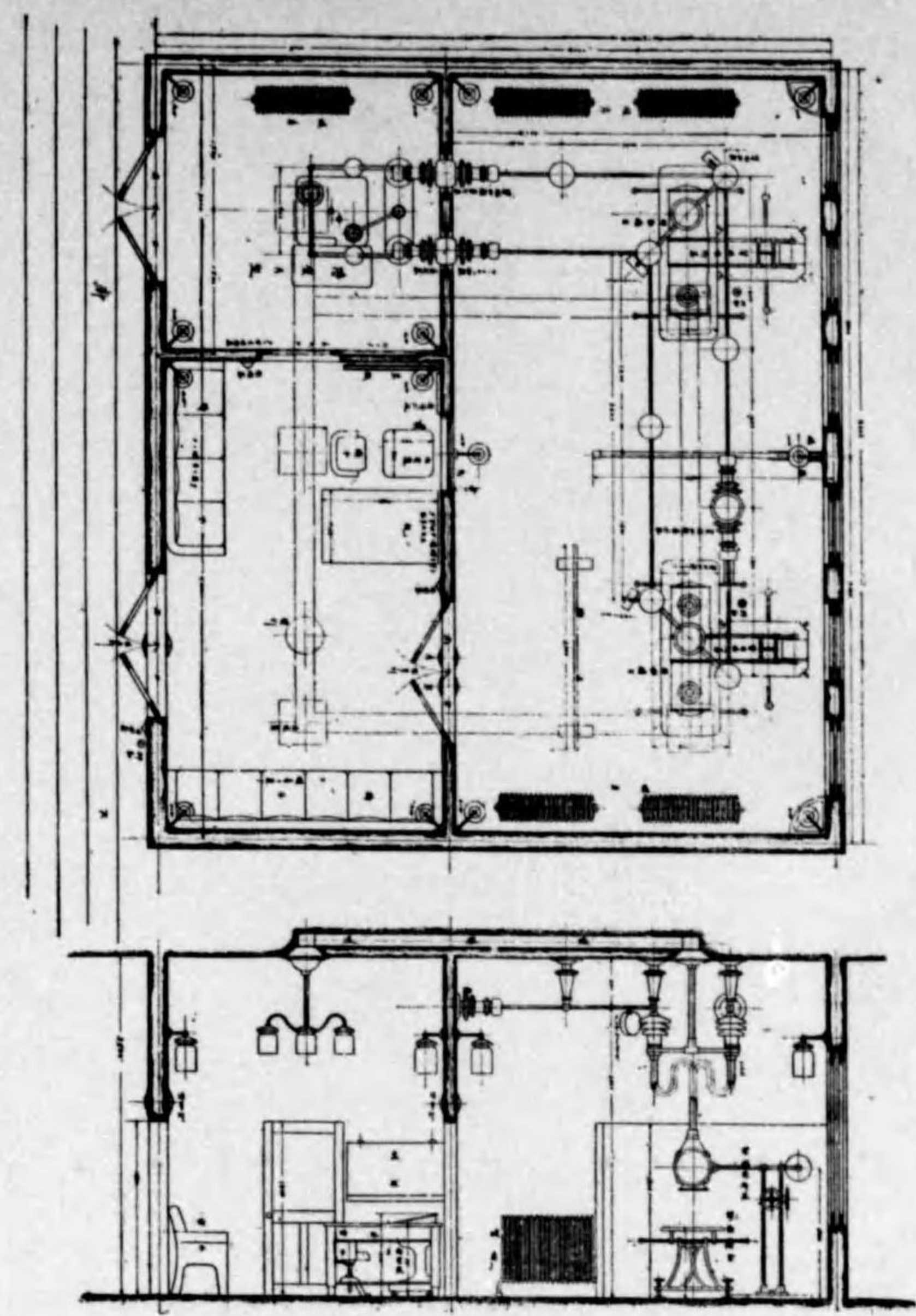
平面圖 縮尺約 1/50

本例に於ては深部治療専用の博愛A號レントゲン装置、診断用としては桂號レントゲン装置の二台を据附けたるものなり。中央に機械室及び操作室、左右に診断室、深部治療室あり。治療室には深部治療用高壓管球保持器及び水平移動式治療台を、診断室にはブッキータブル、R號透視装置、及び移動式リーダー氏立位撮影固定器を据附けたり。壁に排氣電氣扇を備へたるは第三圖と同様なり。診断室と操作室との隔壁には通話格子窓を設けたれば透視のため診断室を暗室とした場合にも操作室との通話は此の窓によりて自由に行はるべし。



7 博愛A號及桂號レントゲン装置
側面圖 縮尺約 $\frac{1}{2}$

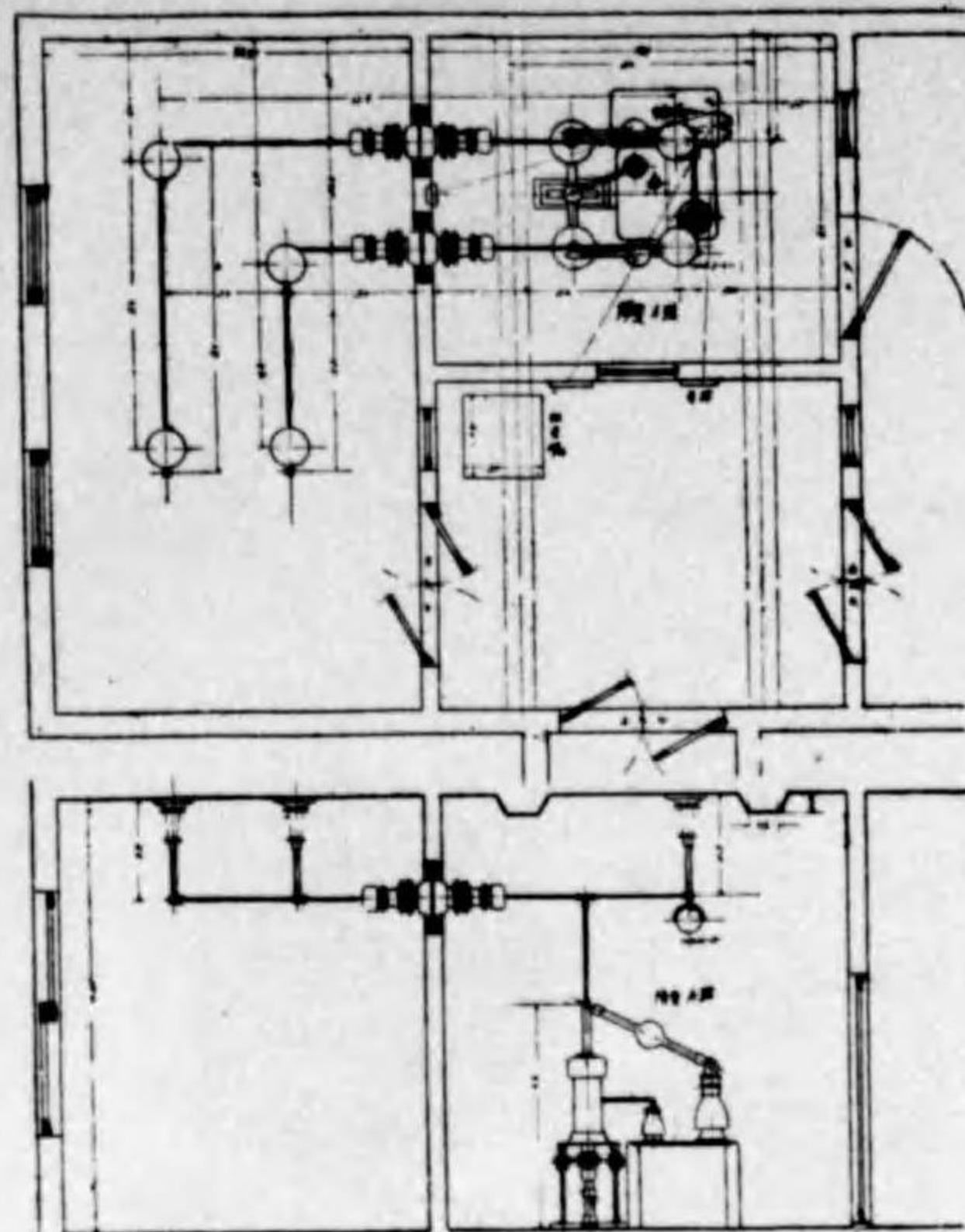
前圖の側面圖なり。



8 博愛A號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 $\frac{1}{60}$

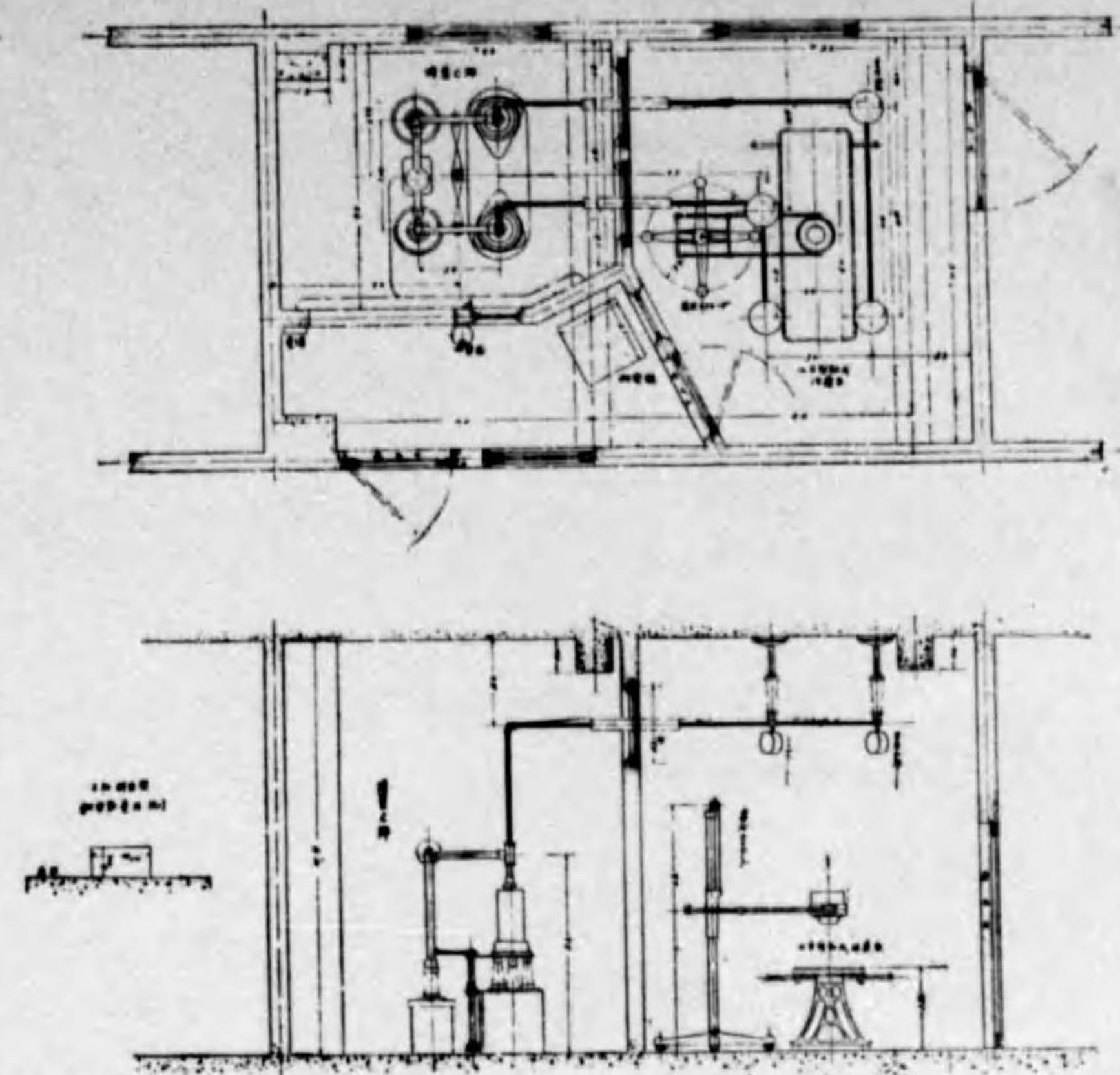
博愛A號レントゲン装置一台を以て同時に二人の患者を治療し得べき様になしたる例なり。 高壓架空管よりは無電撃式ケーブルにより管球に通電す。 管球も亦無電撃用シールドに收めたり。 水平移動式治療台此の無電撃式管球二組を据附け、衝立にてその間を仕切りて二人の患者を同時に治療し得る様にしたるなり。 操作室は患者の待合室を兼ねしめられき、隔壁を設けて、操作室と患者待合室とを別個の室とするも可なるべし。



9 博愛A號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

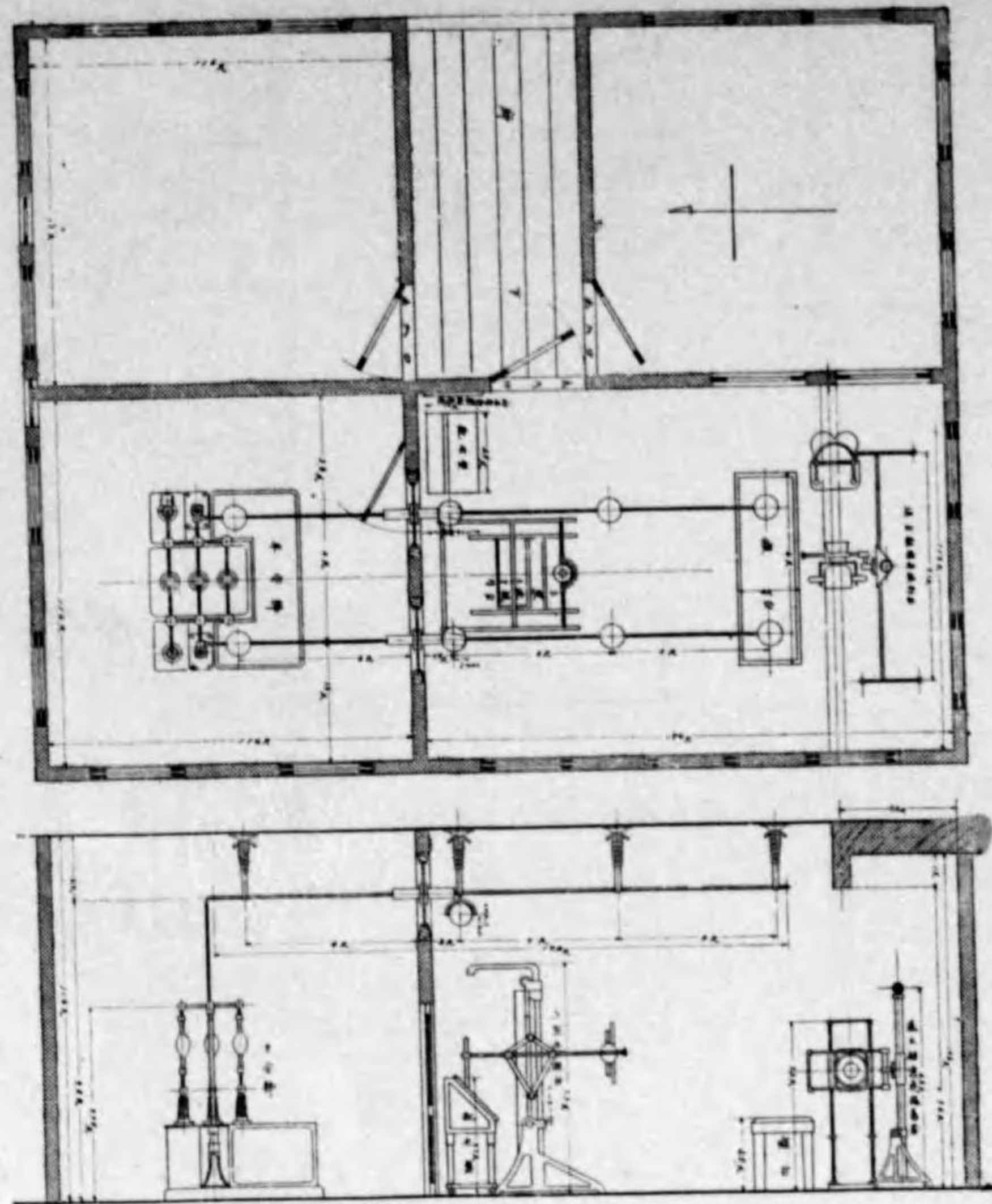
深部治療専用装置として博愛A號レントゲン装置を設備する場合、機械室操作室及び治療室の配置を示すものなり



10 博愛C號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

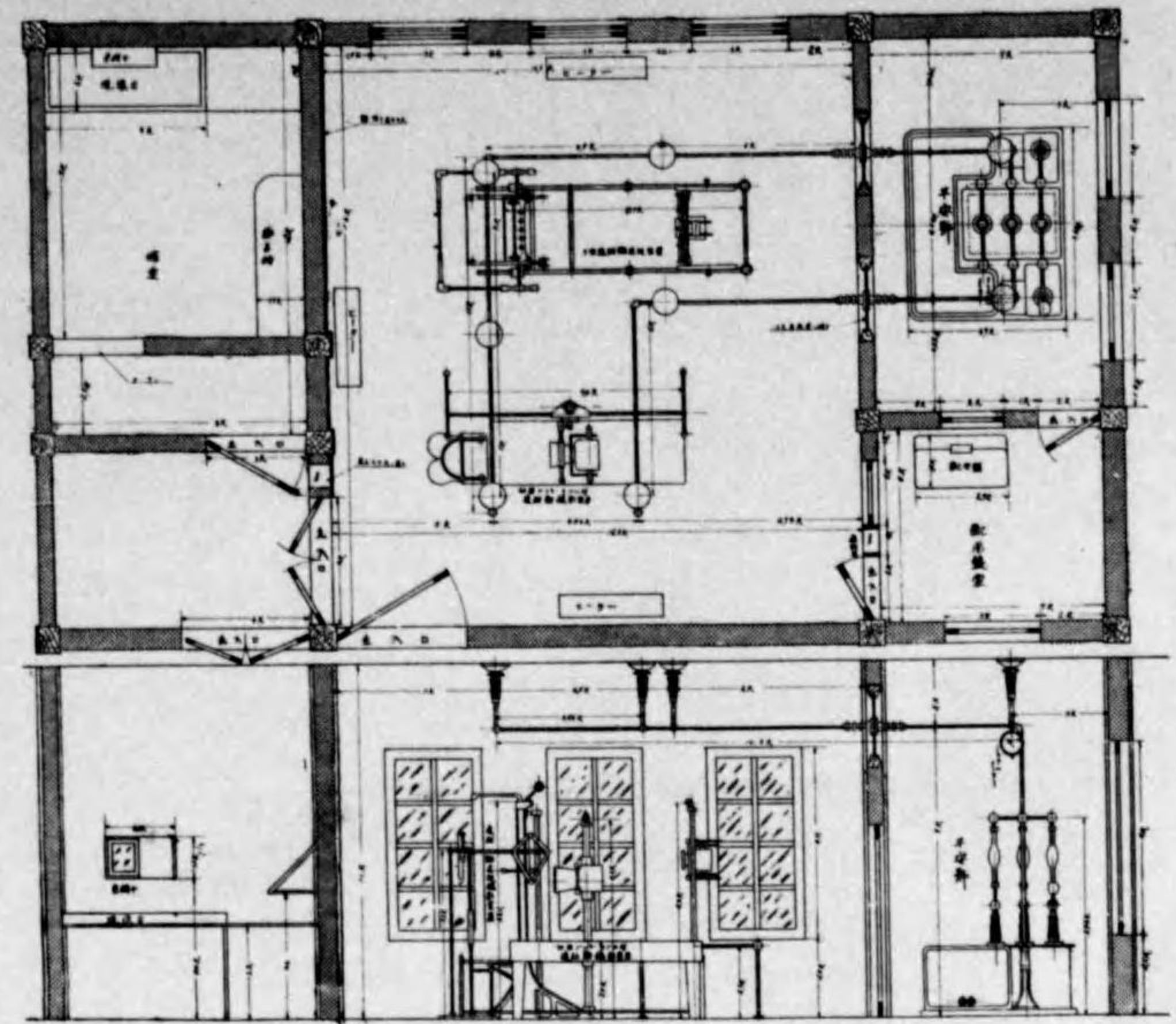
深部治療専用として博愛C號を設備したり。機械室治療室及び操作室に分る。治療室には深部治療用高壓管球保持器及び水平移動式治療台を据附けたり。博愛C號レントゲン装置は深部治療用のみならず診断用としても用ひ得べきを以て第三圖、第四圖、第五圖の博愛B號レントゲン装置の例にならひ診断用の透視装置、ブッキーテーブル、リーダー氏立位撮影固定器等をも備ふれば深部治療、透視、撮影を兼ね行ひ得べきも本例に於ては室の都合上之等を据附くる餘地無く深部治療専用としたり。



11 平安號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 3/40

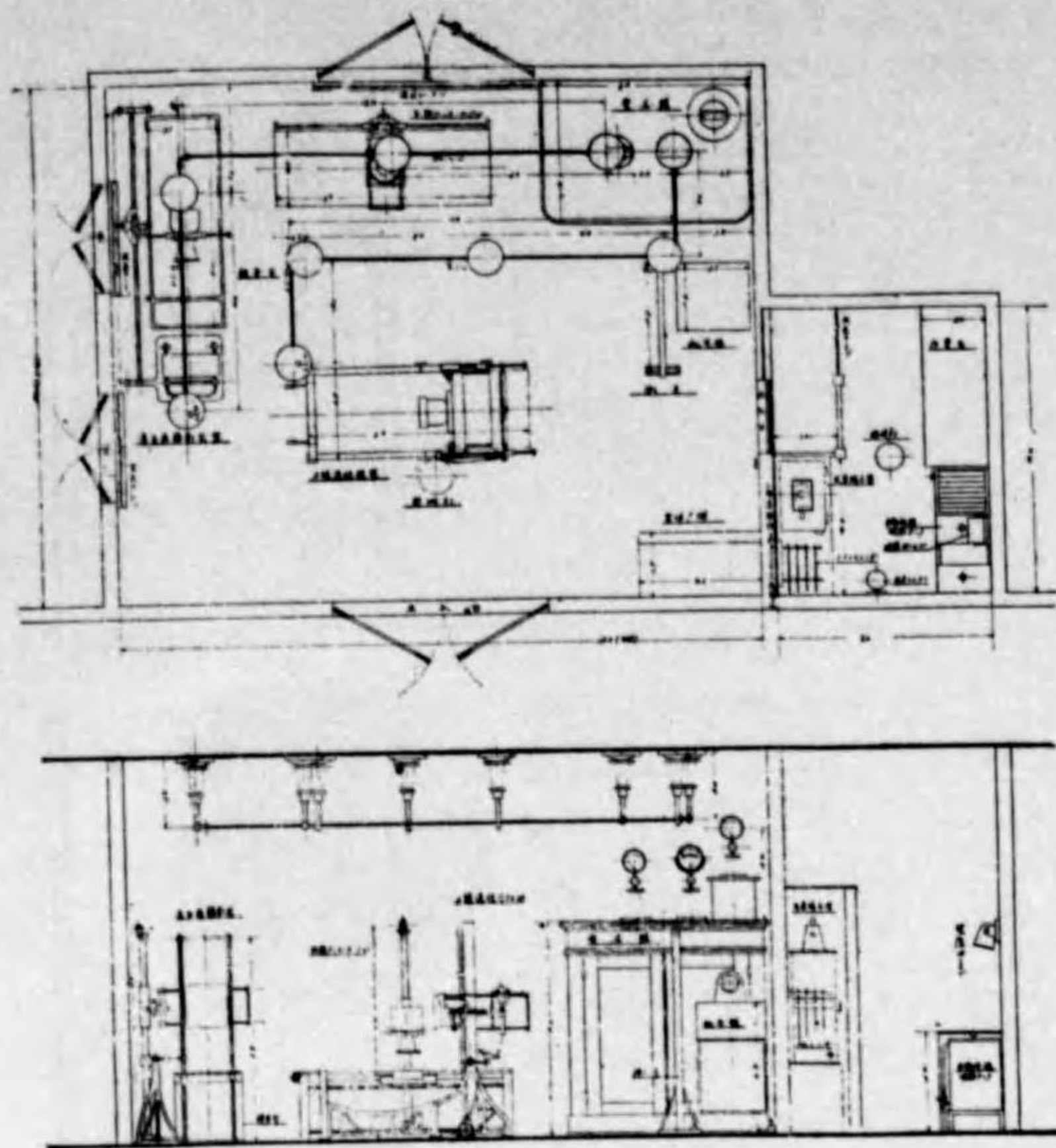
三相交流を電源とする平安號レントゲン装置は主として遠距離瞬間撮影に用ひらる。本例に於ては機械室は診断室と隔てられ透視をも行ひ得る様S減透視装置を据附けたり。遠距離撮影装置をも備へたれば三相交流レントゲン装置本来の特長を發揮せしめ得べし。遠距離撮影装置の傍には臥位の撮影及び表在治療用として寝台を添へたり。



12 平安號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 3/40

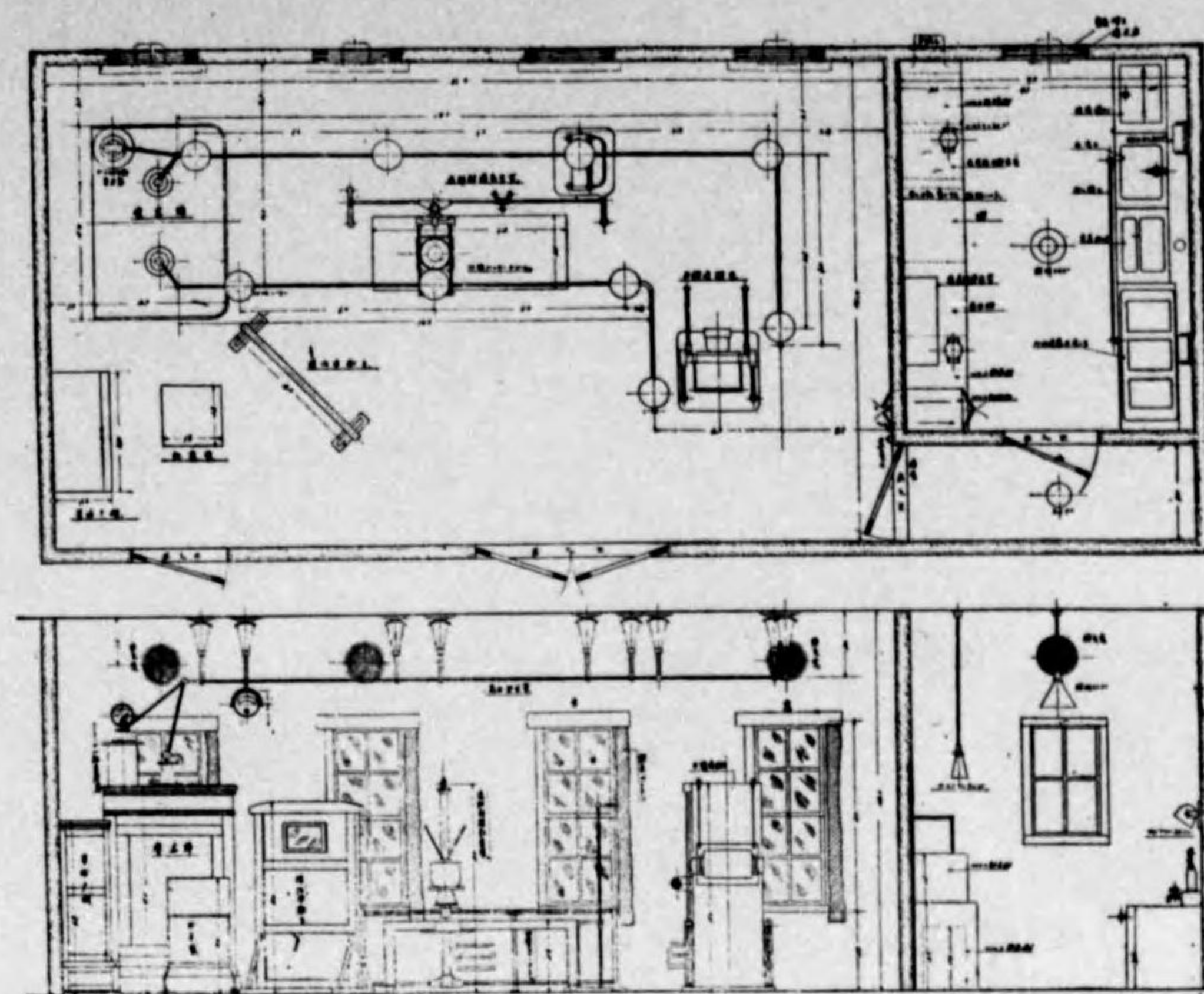
前例と同様三相交流用レントゲン装置平安號を据附けたる例にして機械室と操作室と診断室の三部に分ち更にレントゲン寫真現像室を加へたり。診断室には高級遠距離透視撮影装置及びブッキータブルを組合せたる遠距離撮影装置を据附く。寫真現像室と診断室との間の壁には鉛板を張りてレントゲン線の侵入を防ぎ又診断室より現像室に入る通路は途中に遮光壁を設け扉を開放したる時にも白色光が直接に現像室内に入り來らざる様意を用ひたり。



13 愛宕號レントゲン発生装置

平面圖及側面圖 縮尺約 3/60

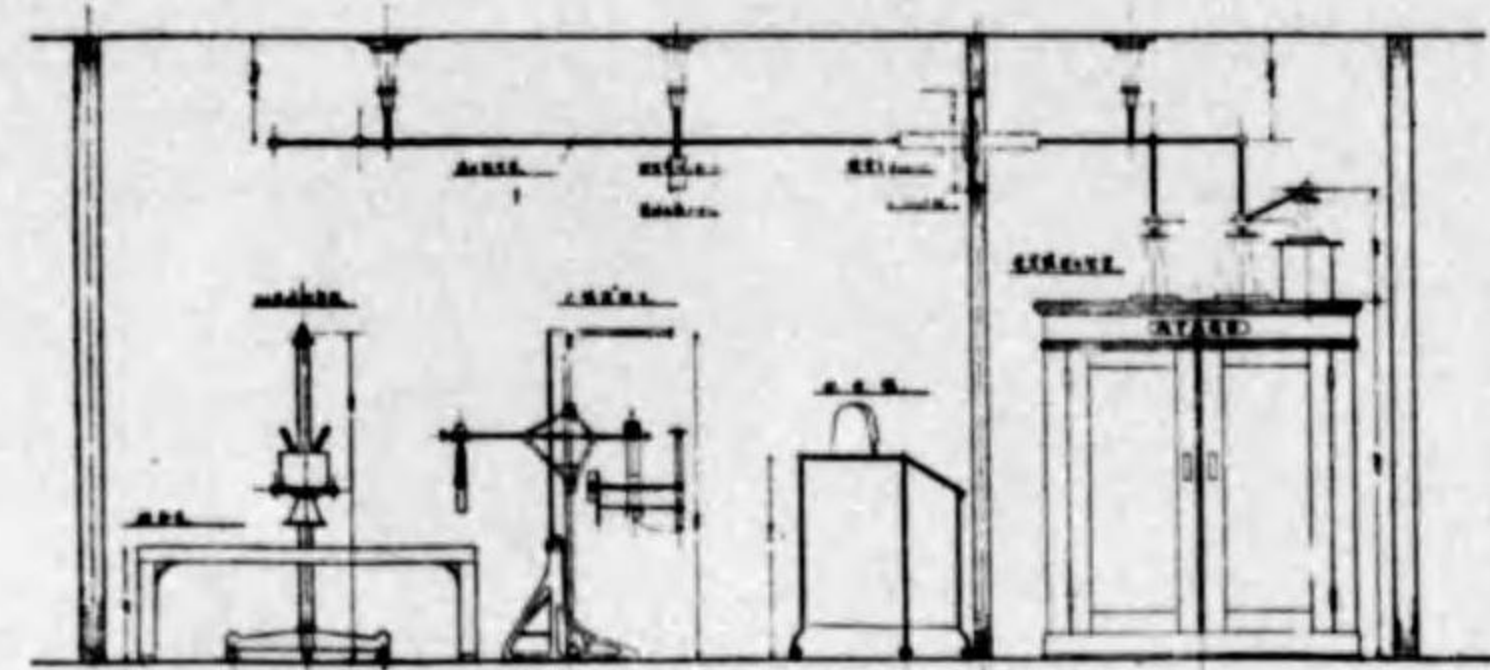
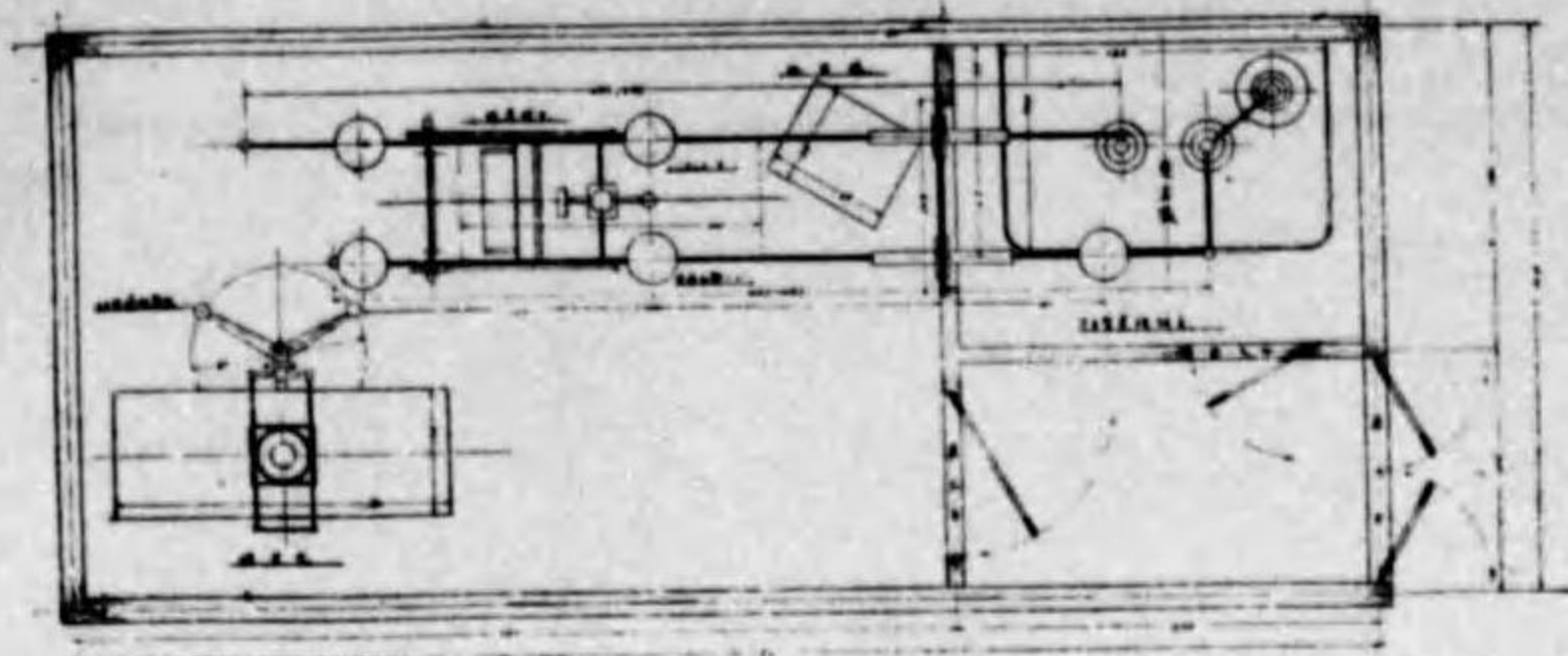
平安號と同じく三相交流を電源とする愛宕號レントゲン発生装置を据附けたる例なり。保護箱を有する装置なるが故に特に機械室を設くる必要なく一室内に附属品全部を收容せり。A號透視装置、遠距離撮影装置、検身台及びブリーチングテーブルを備へ操作用配電盤の傍には防護用衝立を置く。別に寫眞現像室を設けタンク現像或は皿現像のいづれをも選び得る設備をなしたり。現像室と診断室との隔壁には第十二圖の例と同様鉛板を張りレントゲン線の侵入を防ぎたり。



14 愛宕號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/60

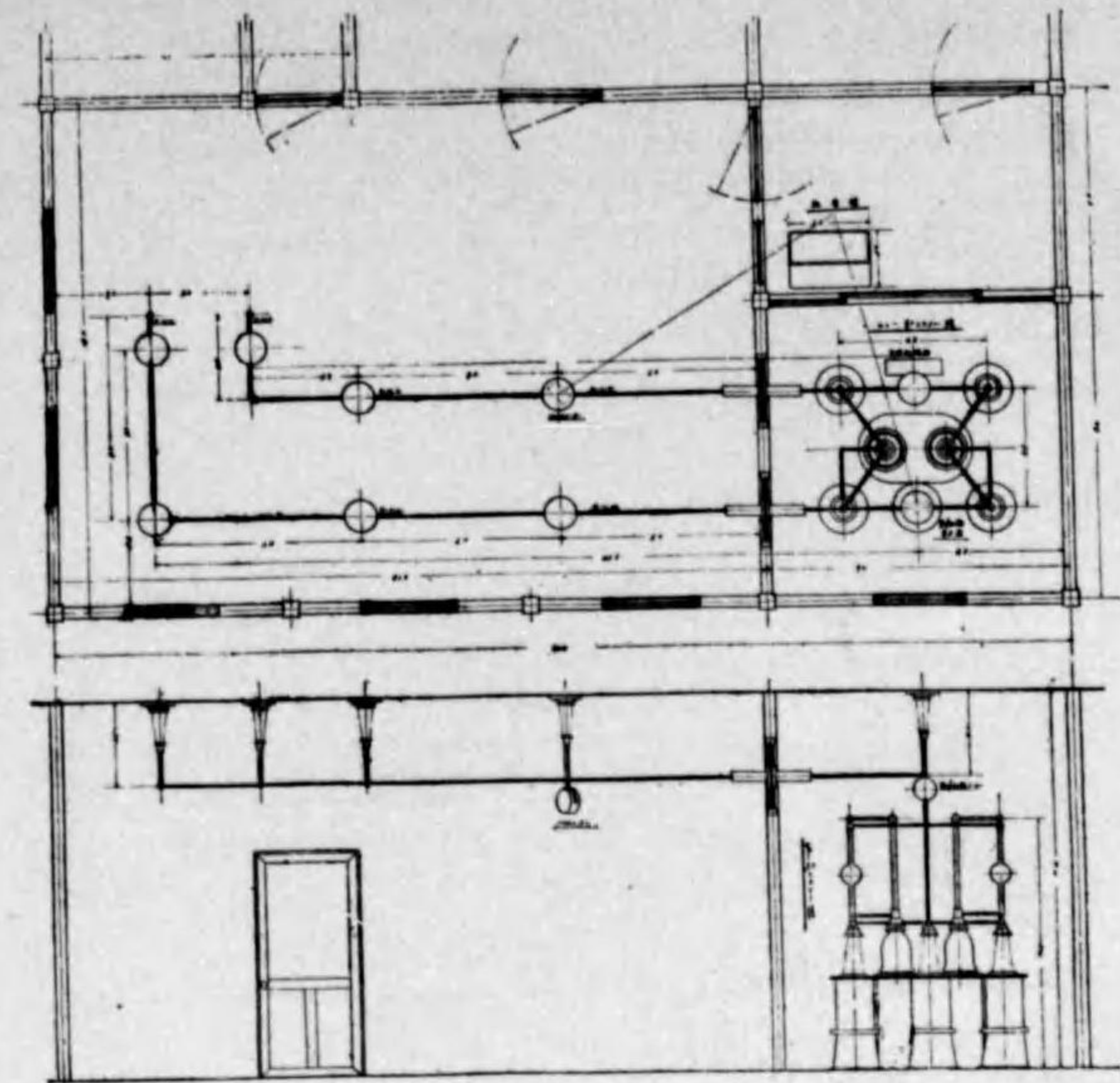
前例と同じく三相交流用レントゲン装置愛宕號を据附けレントゲン寫眞現像室を加ふ。B號透視装置、ブリーチングテーブル及び之を組合せたる遠距離撮影装置を備へ操作用配電盤の傍には防護用衝立を置く。レントゲン寫眞現像室の出入口扉は複式をなし又レントゲン室との隔壁にはフィルム受授箱を取附けたる事なき注意すべし。タンク現像皿現像の何れをも行ひ得る廣き現像台を設けたり。レントゲン室現像室の換氣を計るため排氣電氣扇を壁に取附けたり。



15 愛宕號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

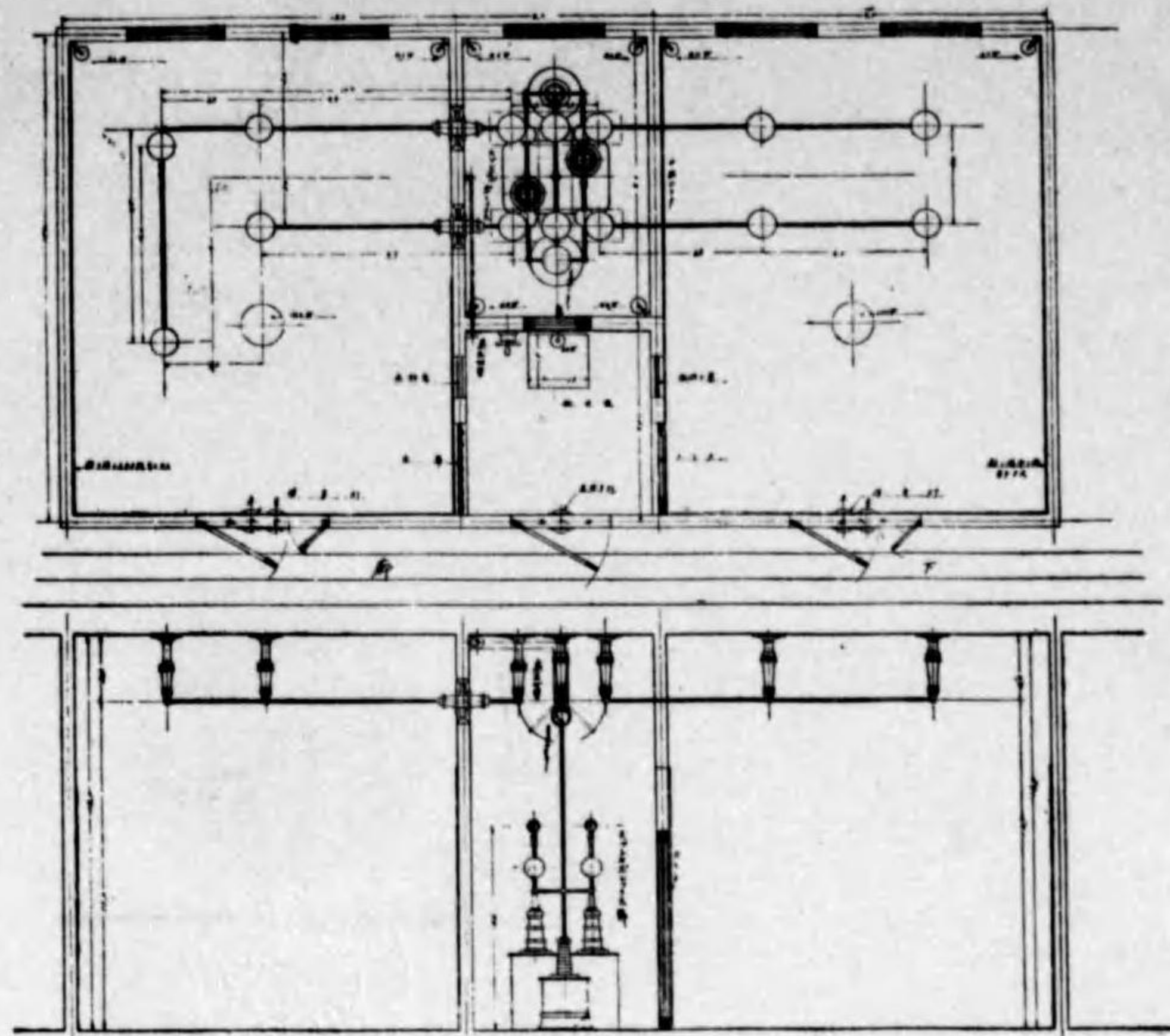
第十三圖第十四圖と同じく三相交流用レントゲン装置愛宕號を据附けたるものなれど前二例と異なる點は特に機械室を設けたる事なり。透視装置としてはC號透視装置を選び外にVA型管球保持器を備ふ。立位に於ける撮影はC號透視装置の螢光板を寫眞取枠に置き換へて之を行ひ臥位の撮影及び表在治療にはVA型管球保持器と檢身台とを以て之を行ふこととせり。C號透視装置は管球支持部を後方二米まで伸ばし得るを以て遠距離撮影を行ひ得べく、之に便する爲技術者は透視装置背面に居る様配電盤の位置を定めたり。



16 ポレスター號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

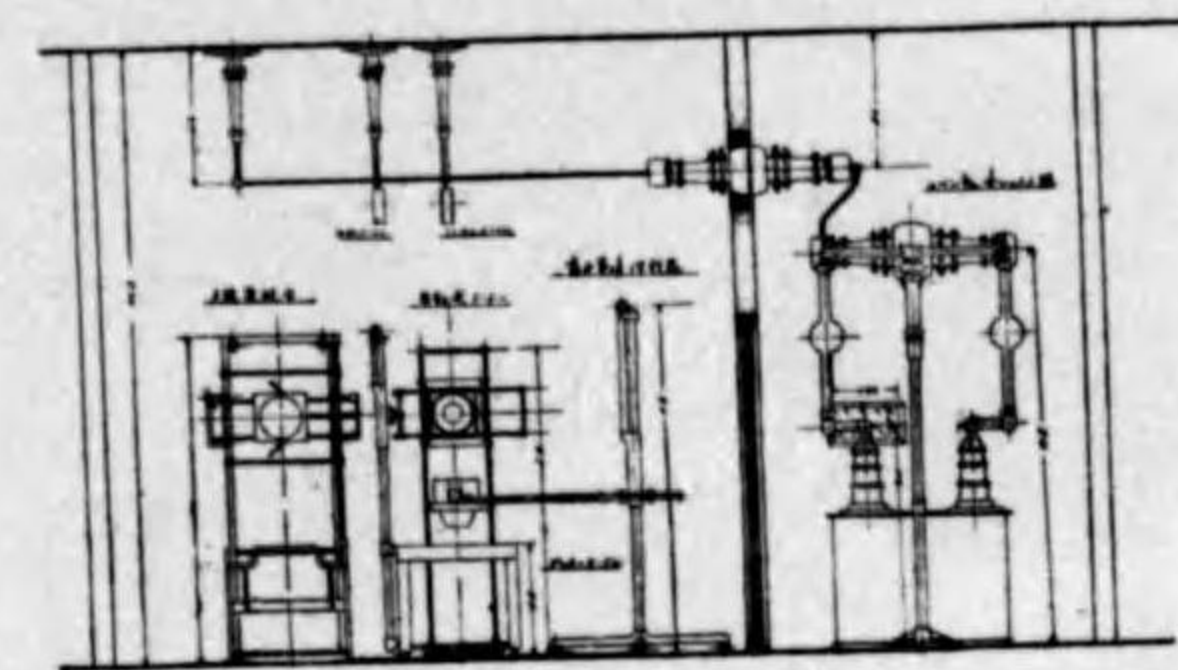
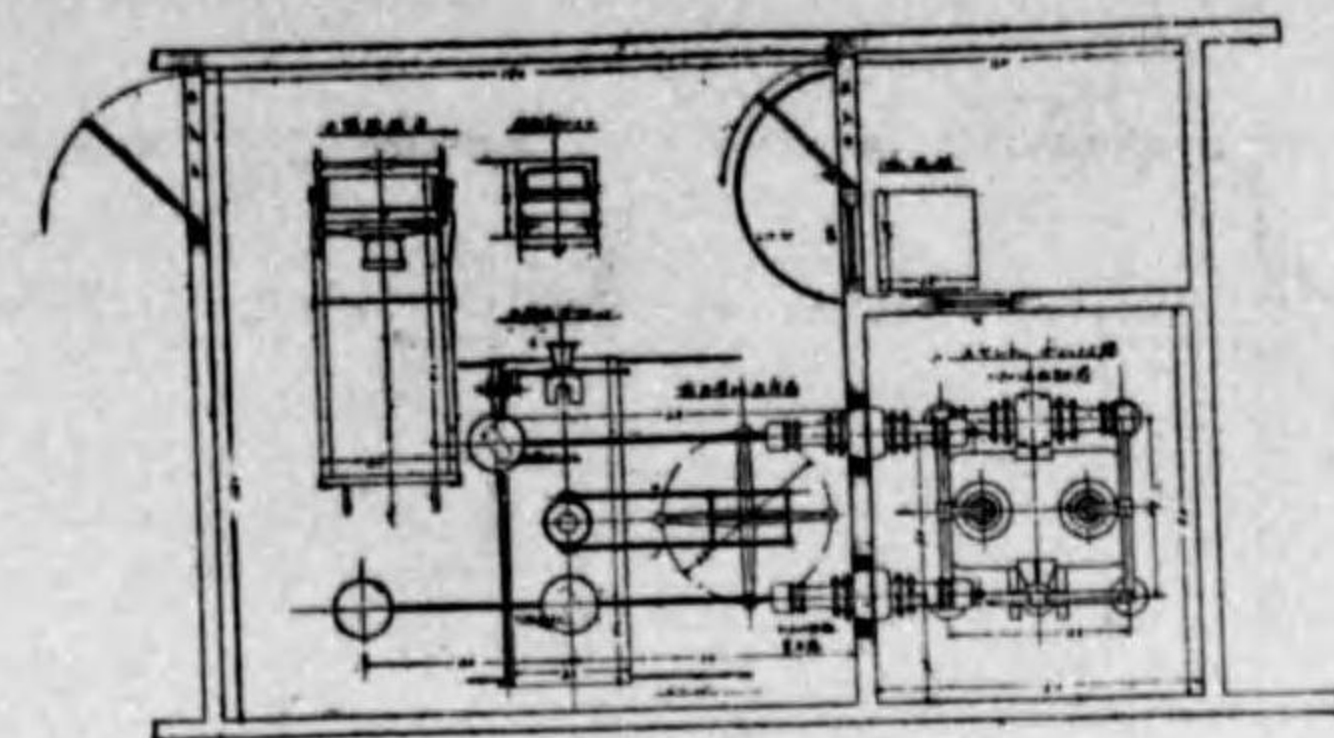
四個の整流管を用ひ標準的なる回路を有する深部治療専用レントゲン装置ポレスター號を据附けたる例なり。機械室操作室及び治療室の三室に分たれたり。第六圖及び第七圖、第八圖、第九圖、第十圖等の深部治療専用レントゲン室据附圖をも御参照願ひ度し。



17 スペシャルボレックス號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 3/40

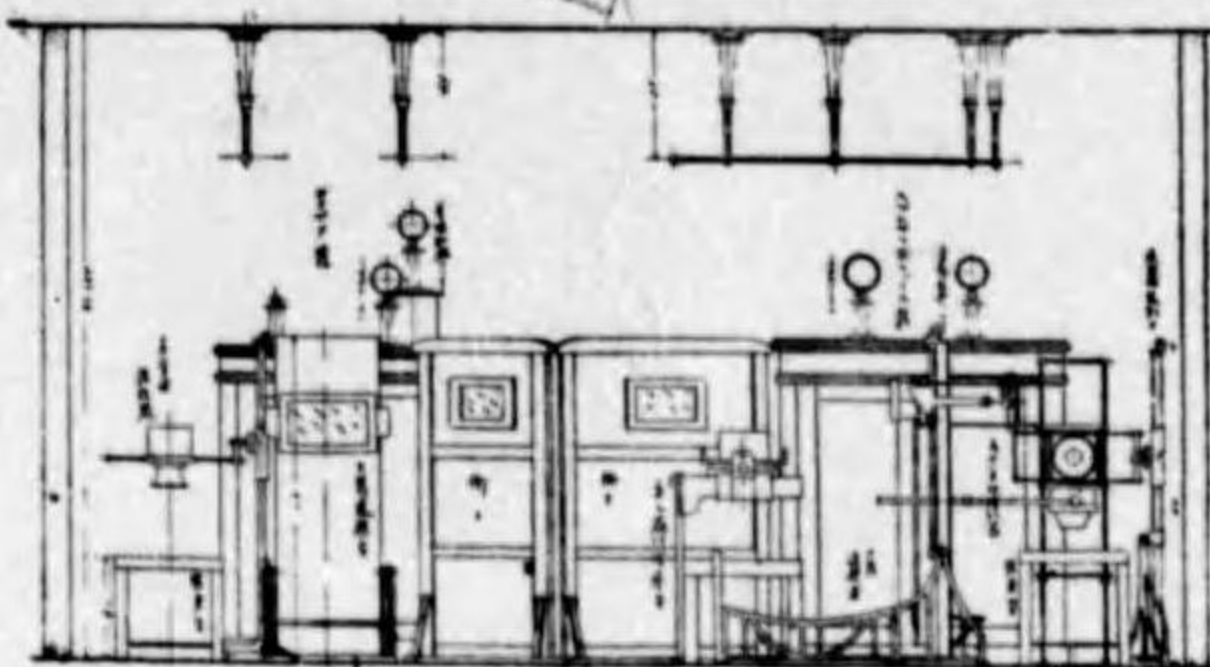
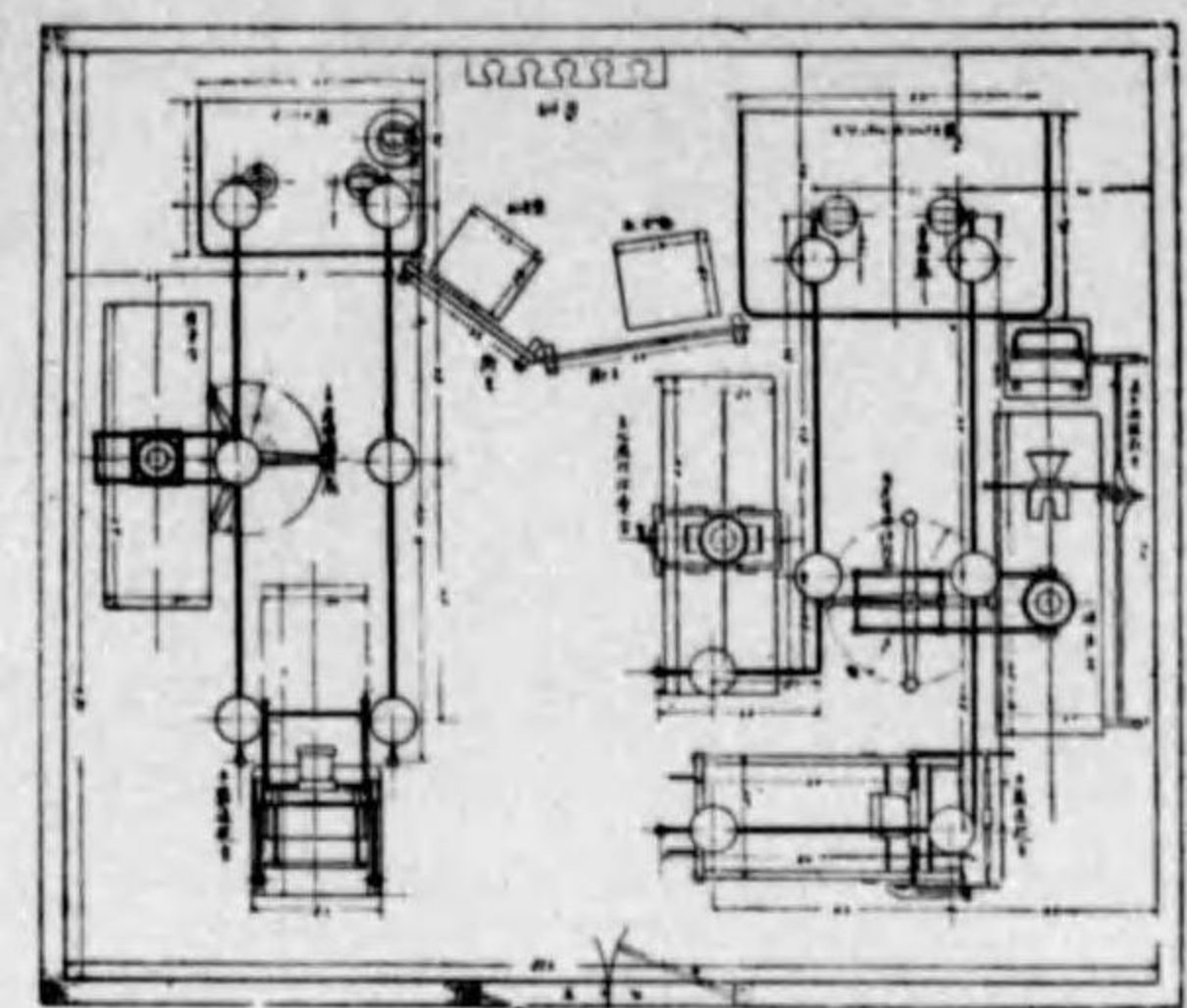
深部治療診断兼用のスペシャルボレックス號を据附けたる例なり。此の例に於てはスペシャルボレックス號の保護箱を除きて中央の機械室に收容し操作室治療室診断室を配置せり。第三圖、第四圖、第五圖に於ける博愛B號レントゲン装置据附圖をも御参照願ひ度し。



18 スペシャルボレックス號装置

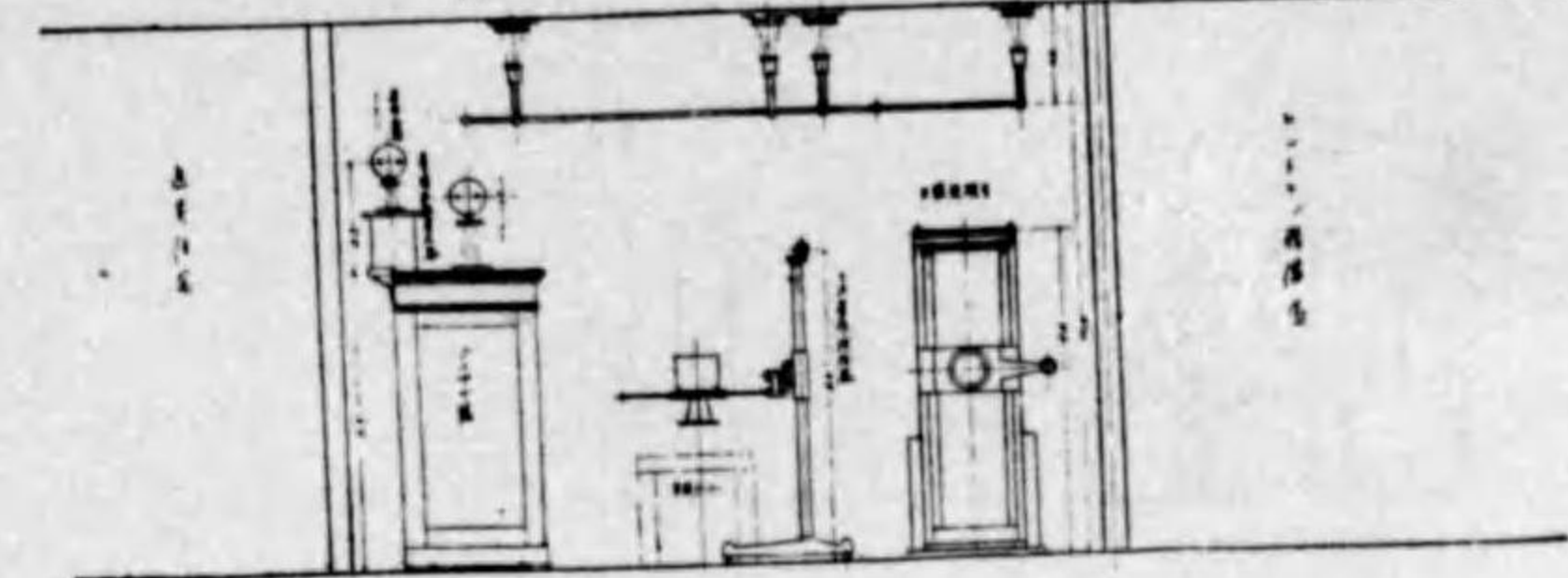
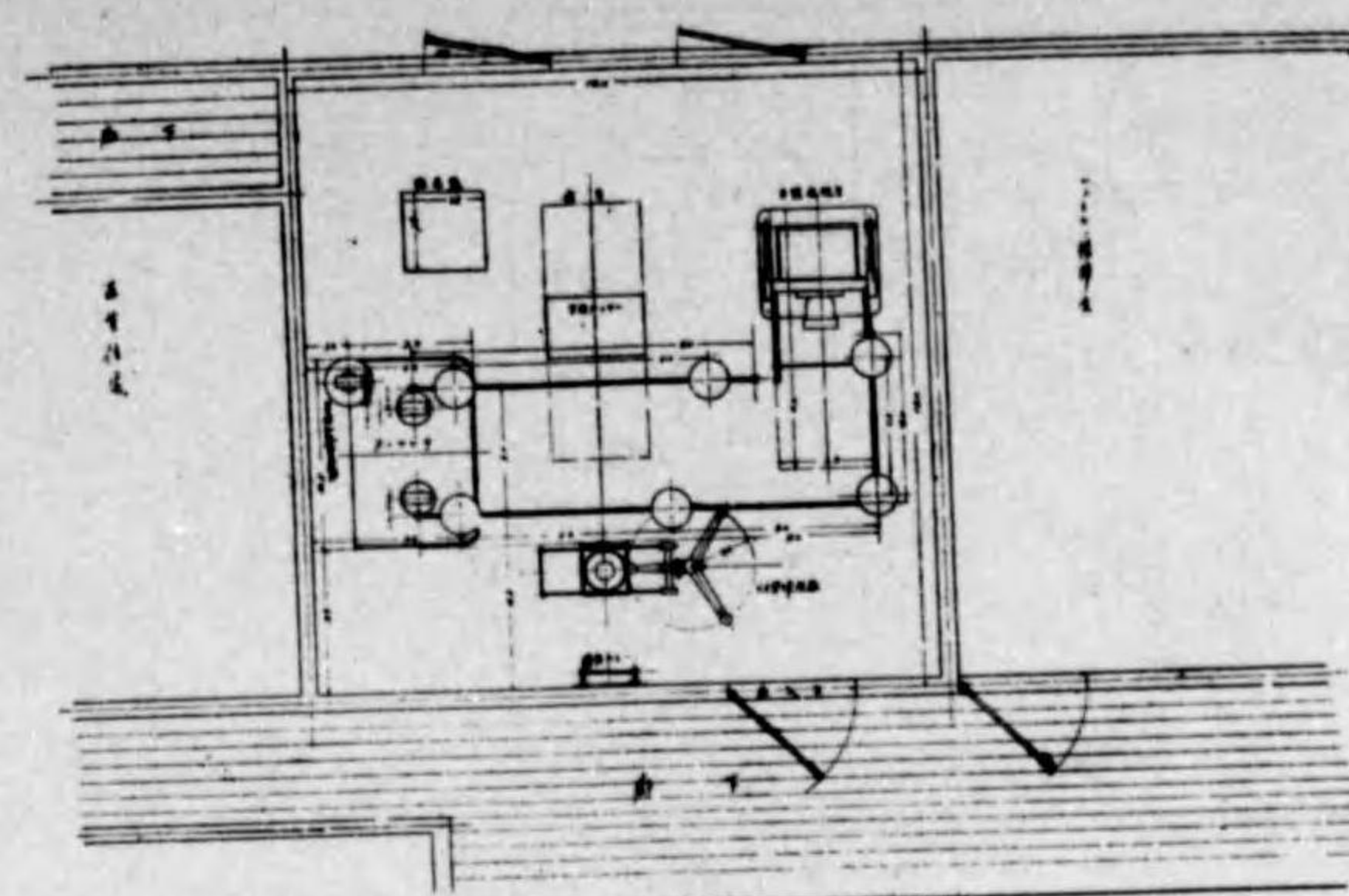
平面圖及側面圖 縮尺約 3/40

特別の設計になるスペシャルボレックス號の据附圖なり。本例に於ても機械室、操作室、診察室の三部に分ちスペシャルボレックス號の保護箱を除きて機械室に收めたるなり。機械室と診察室との隔壁を貫通する高壓套管はその中に加熱變壓器を容れたり。診察室には深部治療用高壓管球保持器、ブッキーテーブル、移動式リーダー氏立位撮影固定器、A號透視装置を備へ、深部治療、立位及び臥居の撮影或は透視等各種レントゲン治療方法を遺憾なく遂行せしめ得る様設備せり。



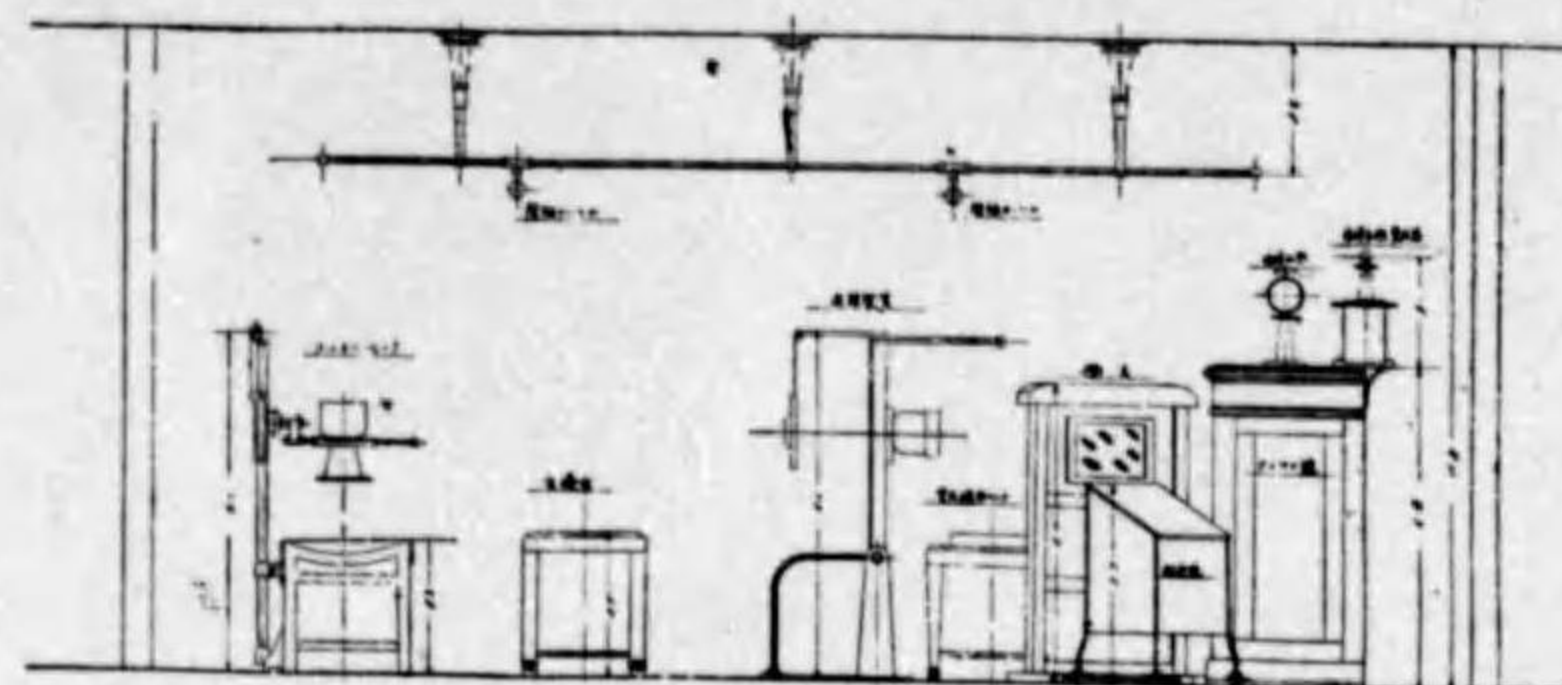
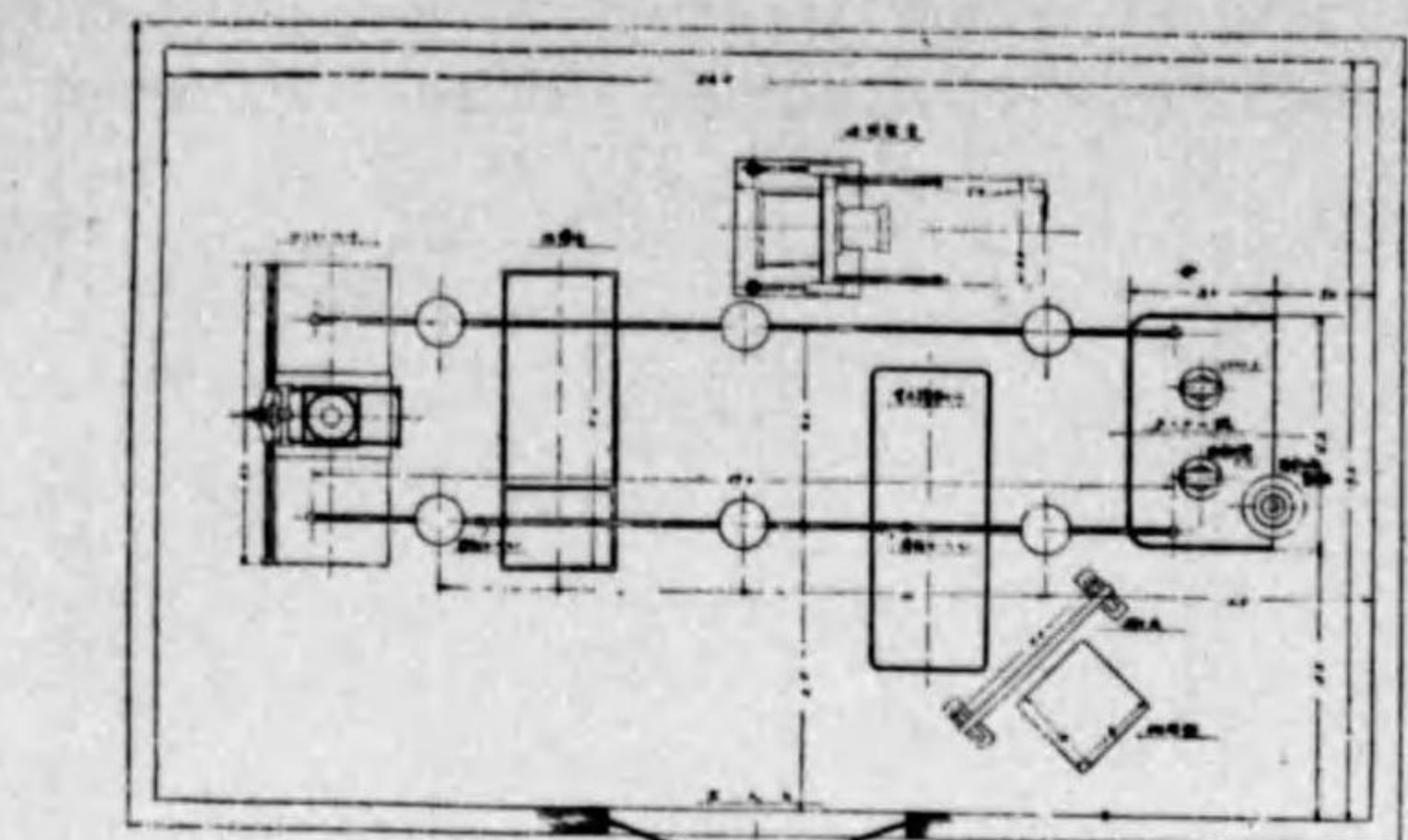
19 スペシャルボックス號及ダイアナ號 レントゲン装置 平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

一つの室内に二台のレントゲン装置を之に附屬する診療器具を收容したり。スペシャルボックス號は深部治療、診断兼用装置なるが故に高壓管球保持器、球心器付治療台の如き深部治療用具、遠距離撮影装置、A號透視装置の如き診断用具を備へ、ダイアナ號にはB號透視装置、VA型管球保持器、檢身台を附屬せしめ透視診断及び表在治療を行ひ得べくしたり。 兩装置の操作用配電盤の傍には防護衝立を置き操作者を保護す。



20 ダイアナ號レントゲン装置 平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

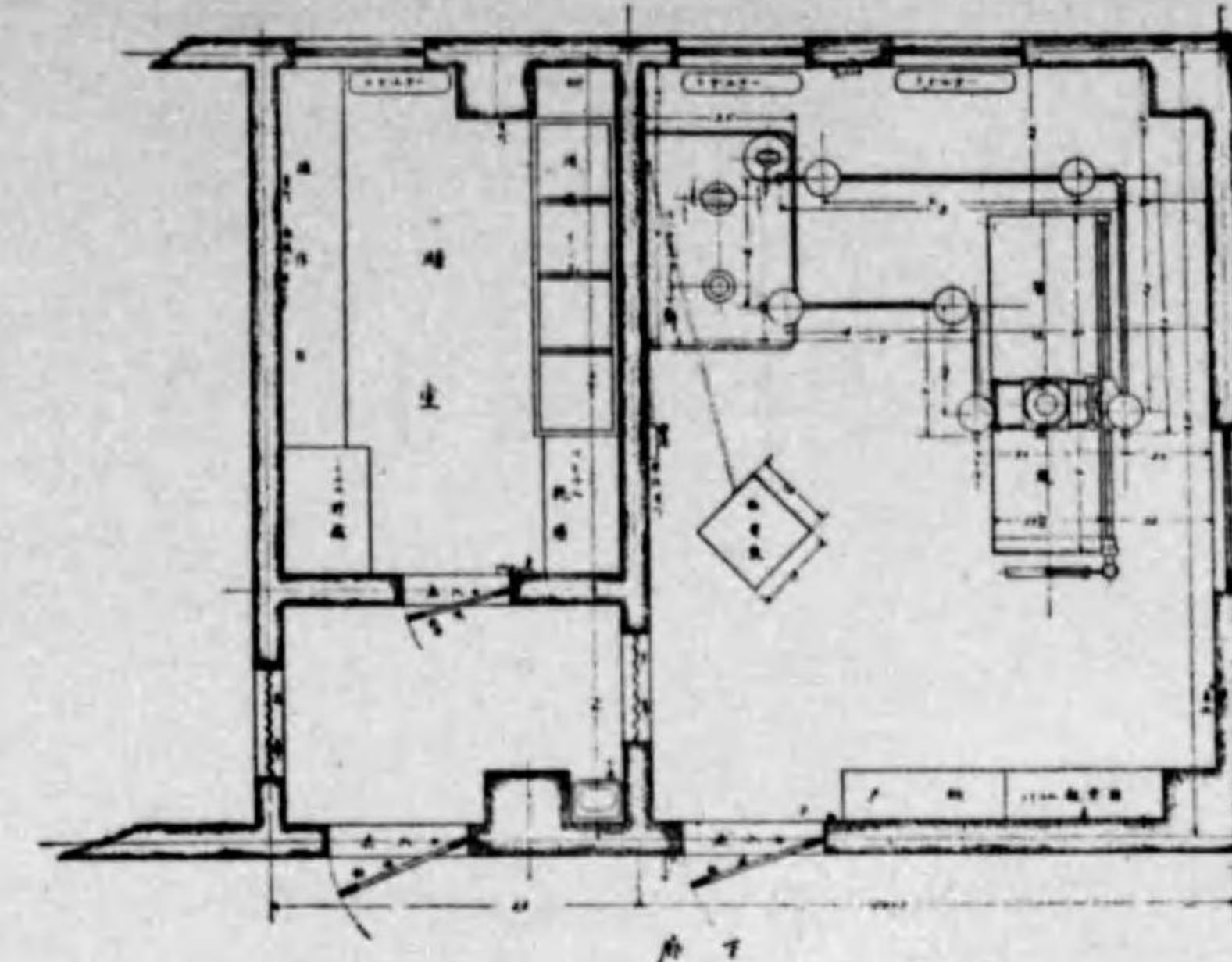
透視、撮影及び表在治療用として最も手頃且つ標準的なダイアナ號レントゲン装置の据附圖なり。 B號透視装置、VA型管球保持器、壁懸式リーダー氏立位撮影固定器及びフックブレンダーを備へ、一通りの透視撮影の目的を遂行し得らるゝ様設備せり。



21 ダイアナ号レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

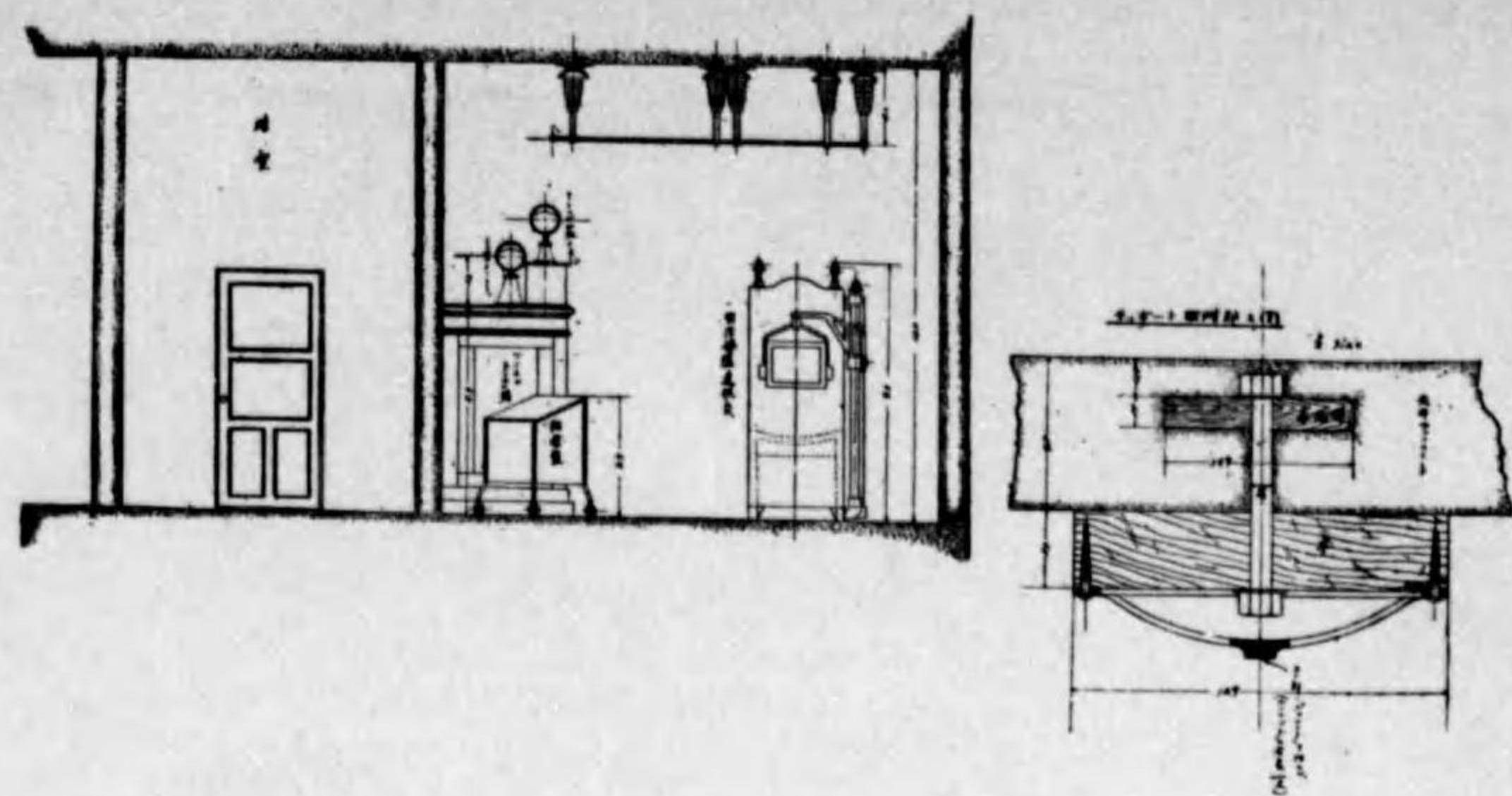
前例に同じくダイアナ号レントゲン装置を据附けたるものなり。前例と殆んど同様なるもブッキーテーブルを備へ、防護用衝立を置きたる點等に少しく異りたる所あり。室の大きさに餘裕あり、前例よりも操作上に便利なるべし。一般にレントゲン室は稍々廣過ぎる位にて丁度適當なるものにて餘り狭きは宜しからず。



22 ベンチールダイアナ号レントゲン装置

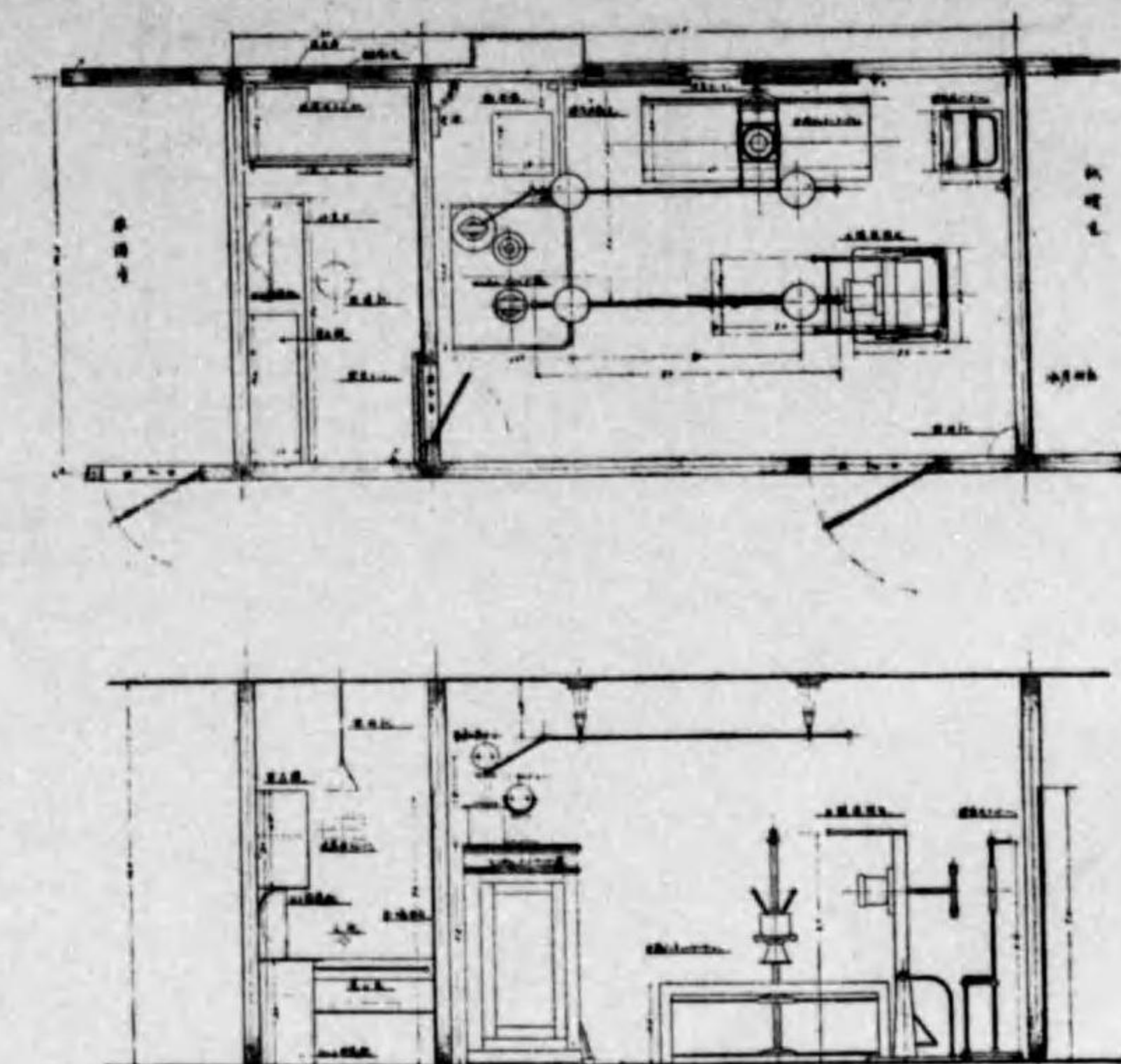
平面圖 縮尺約 1/50

本例はベンチールダイアナ号と特に設計せる保津號用立位透視台及び水平診察台とを組合せたるものにして稍々異例とすべきものなり。萬能操作台を組合せたる方が或は操作に便ならんか。本例に於て注意すべきは寫眞現像室を相當廣く取りたる點なるべし。



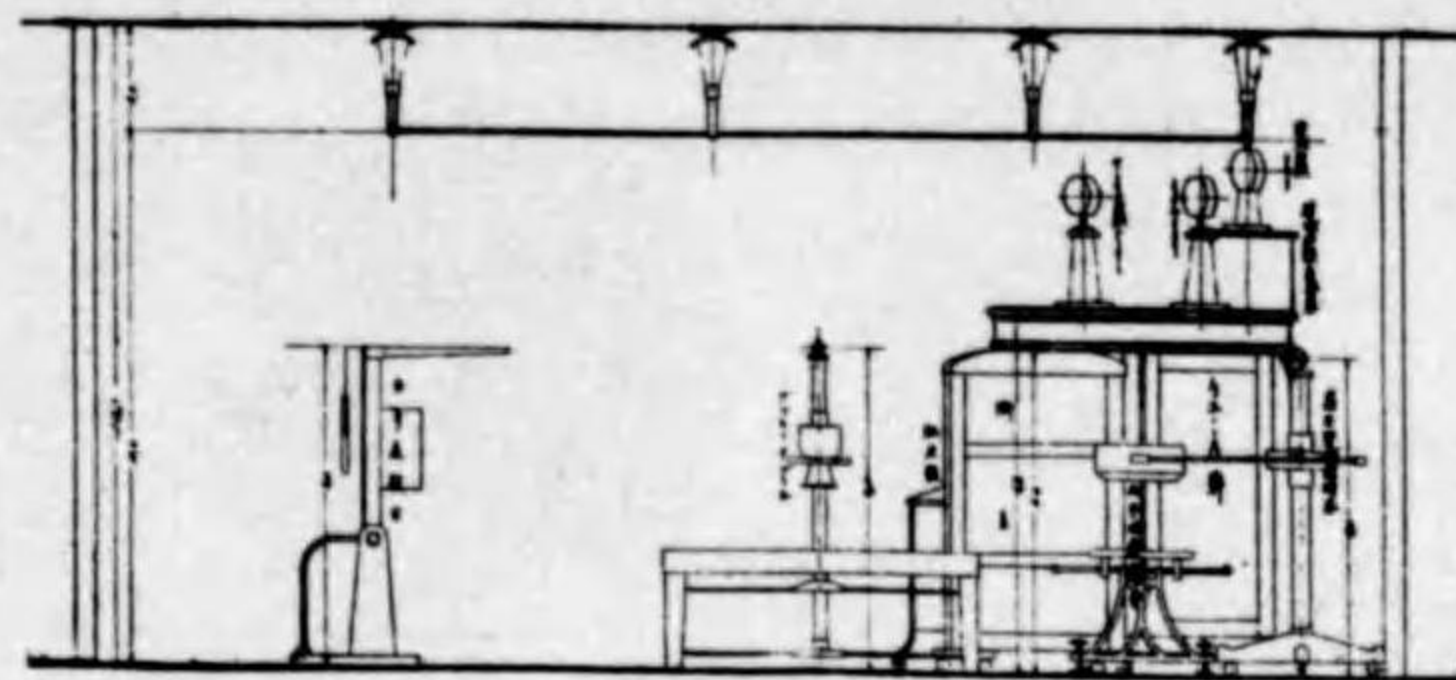
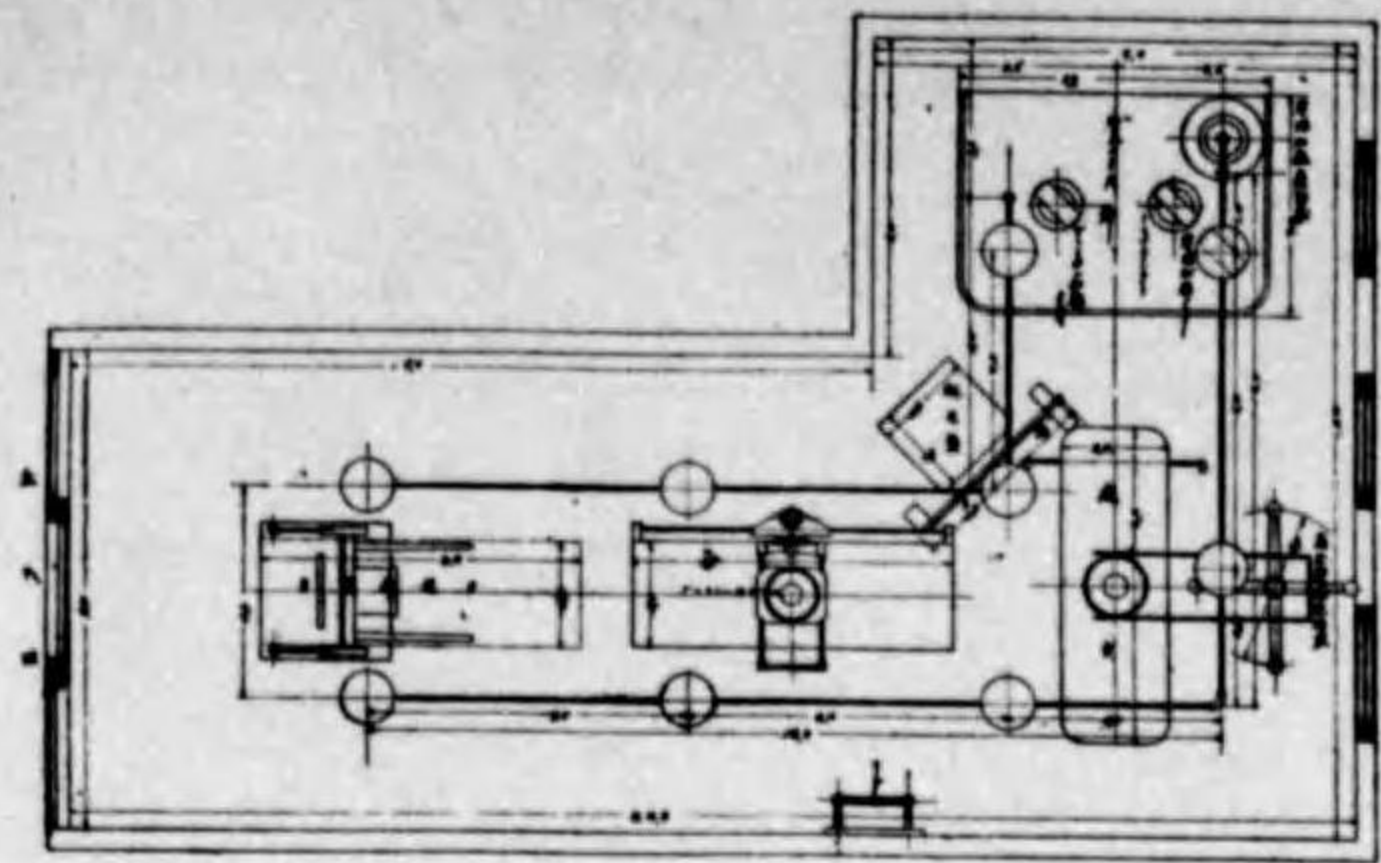
23 ペンチールダイアナ號レントゲン装置
側面圖 縮尺約 3/4

前圖の側面圖なり。



24 ペンチールダイアナ號レントゲン装置
平面圖及側面圖 縮尺約 3/4

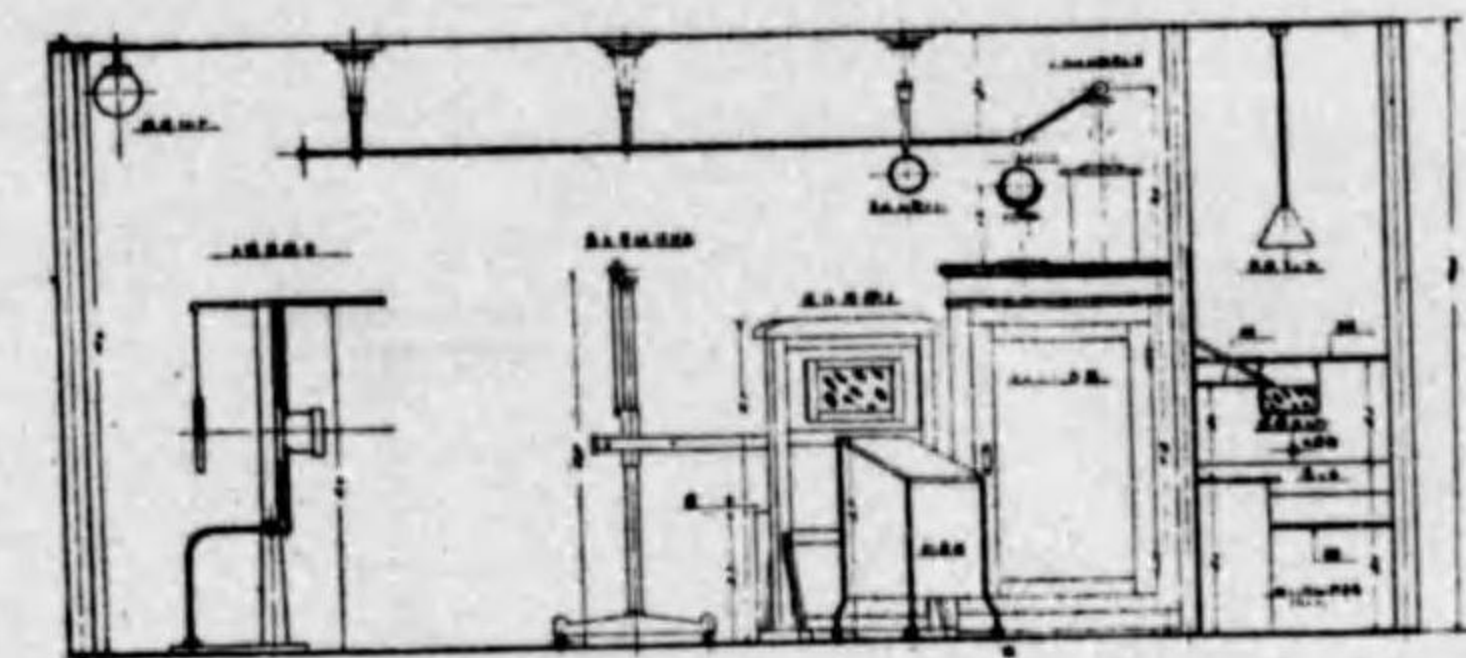
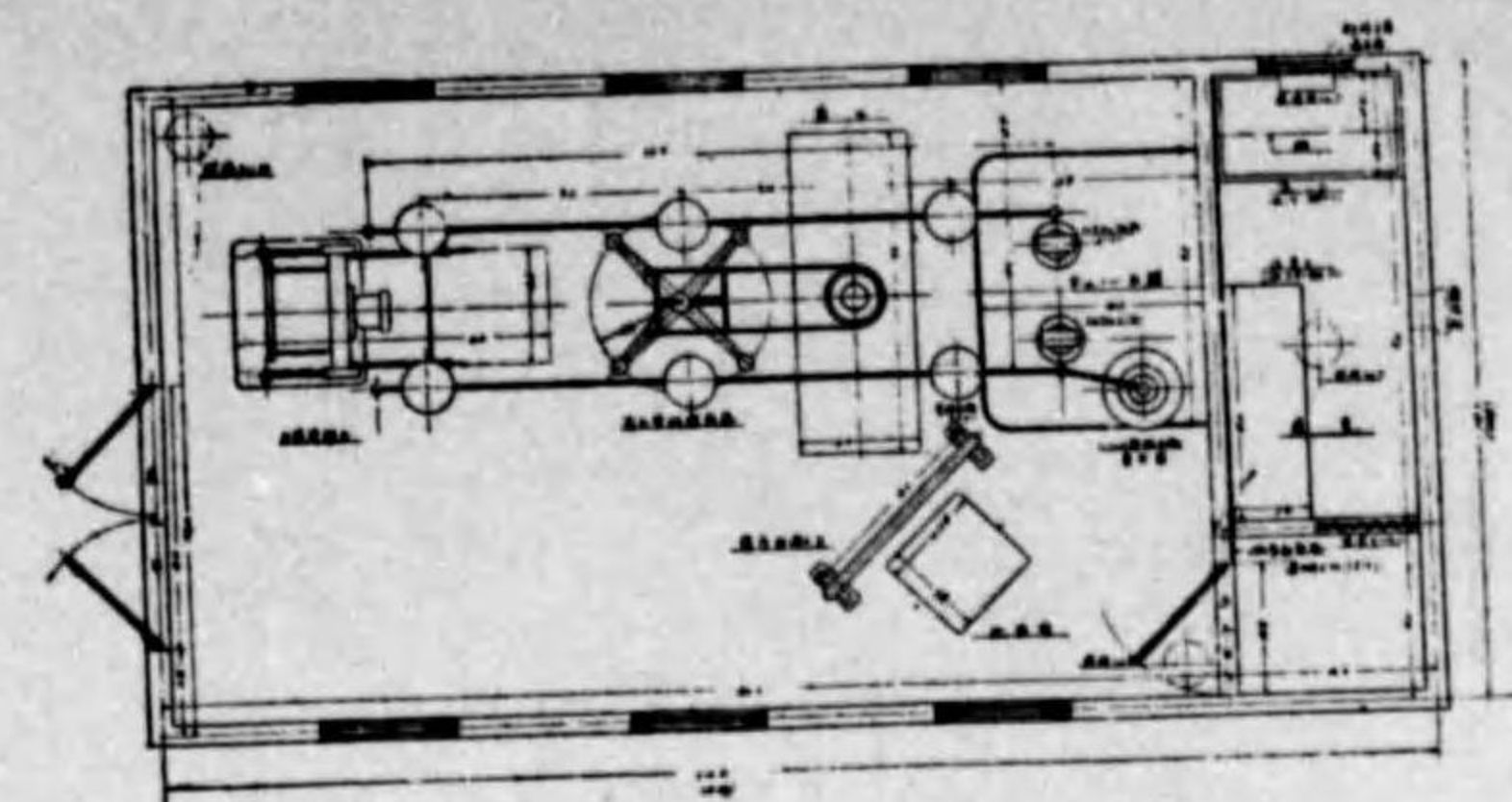
ペンチールダイアナ號レントゲン装置にブッキーテーブル、B號透視装置、移動式リーダー氏立位撮影固定器、操作防護衝立等を組合せ寫眞現像室を附屬せしめたる例なり。第二十圖、第二十一圖、第二十二及二十三圖と比較對照して頂き度し。



25 チュノーA号レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

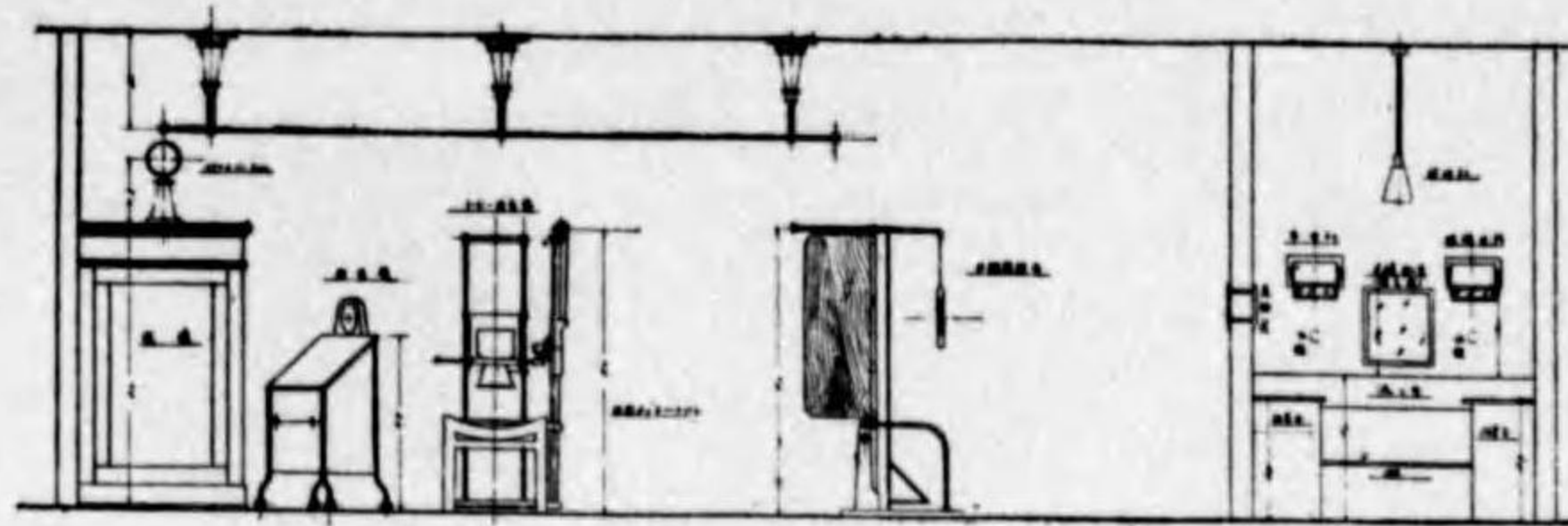
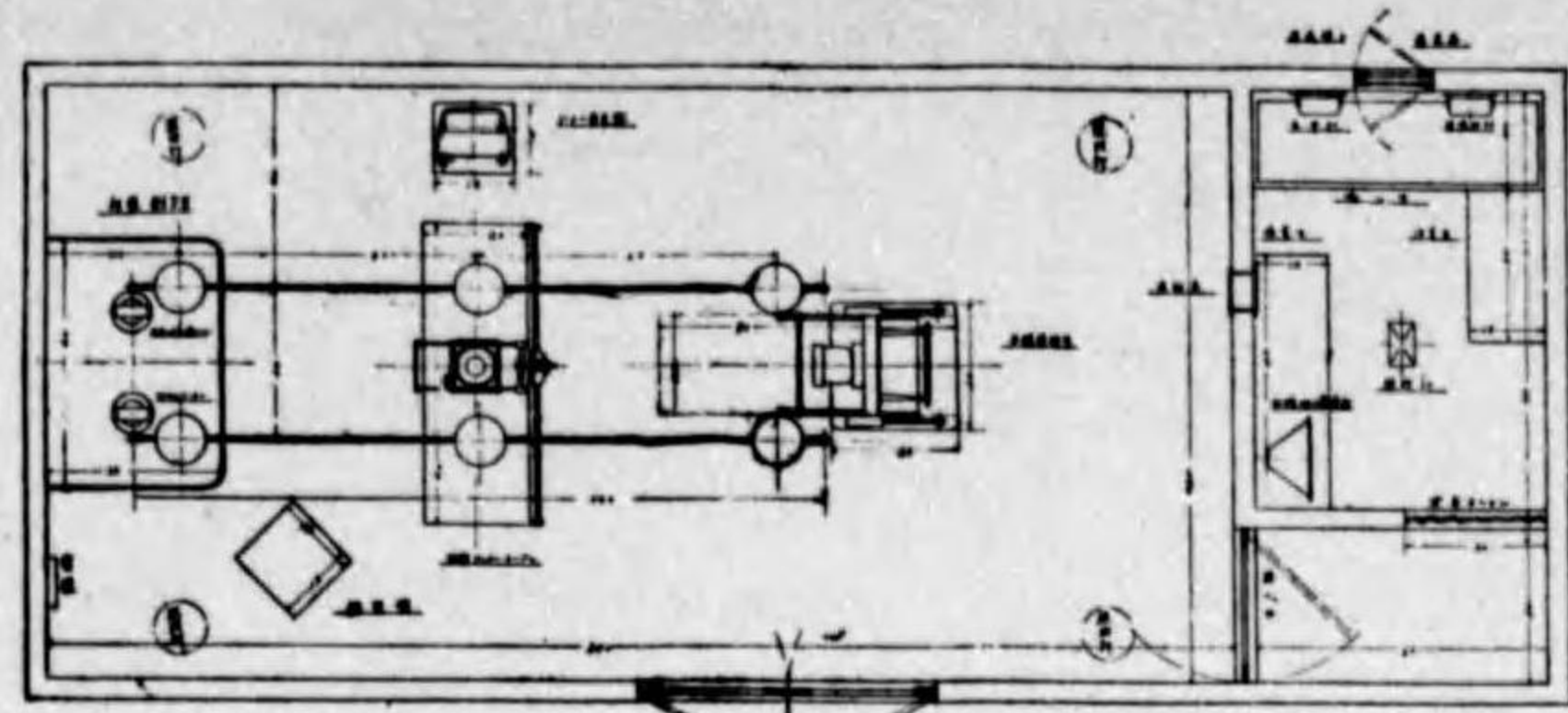
深部治療と診断の兩用を兼ねしめたるものにて、深部治療用高壓管球保持器、水平移動式治療台の如き深部治療用附屬品の外にブッキーテーブル、B號透視装置を備へて診断の目的にも用ひんごするものなれどもチュノーA號は寧ろ深部治療専用とし診断用には他の適當なる装置を選ぶ方可なるべし。



26 チュノーB号レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

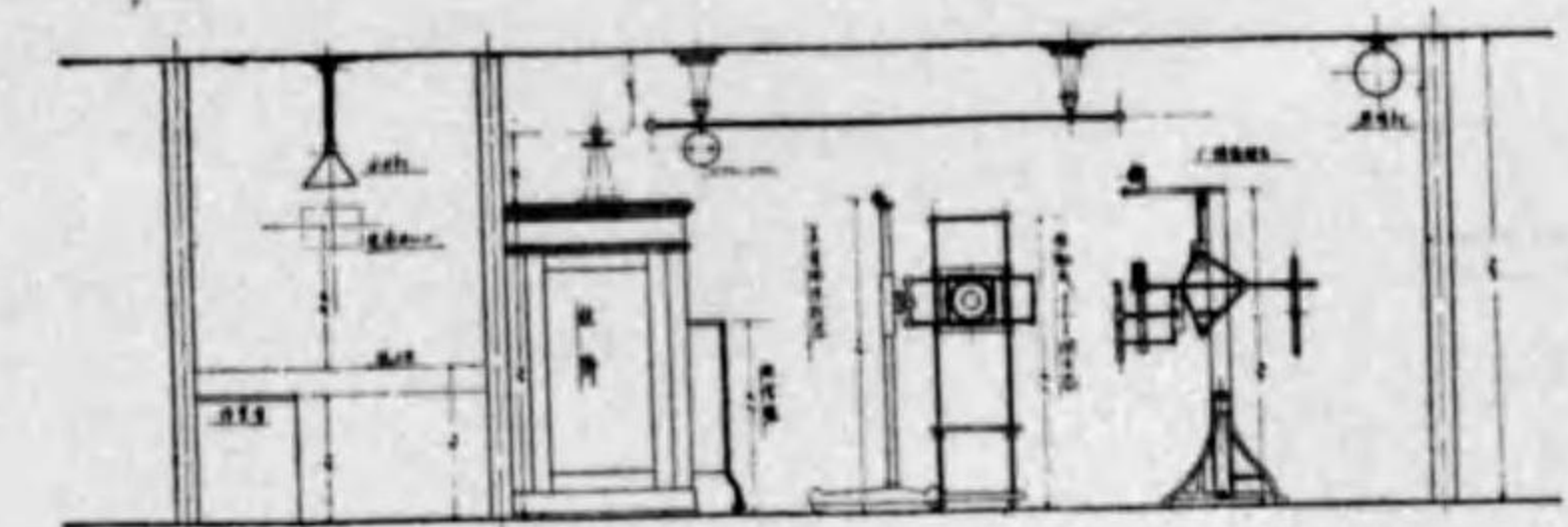
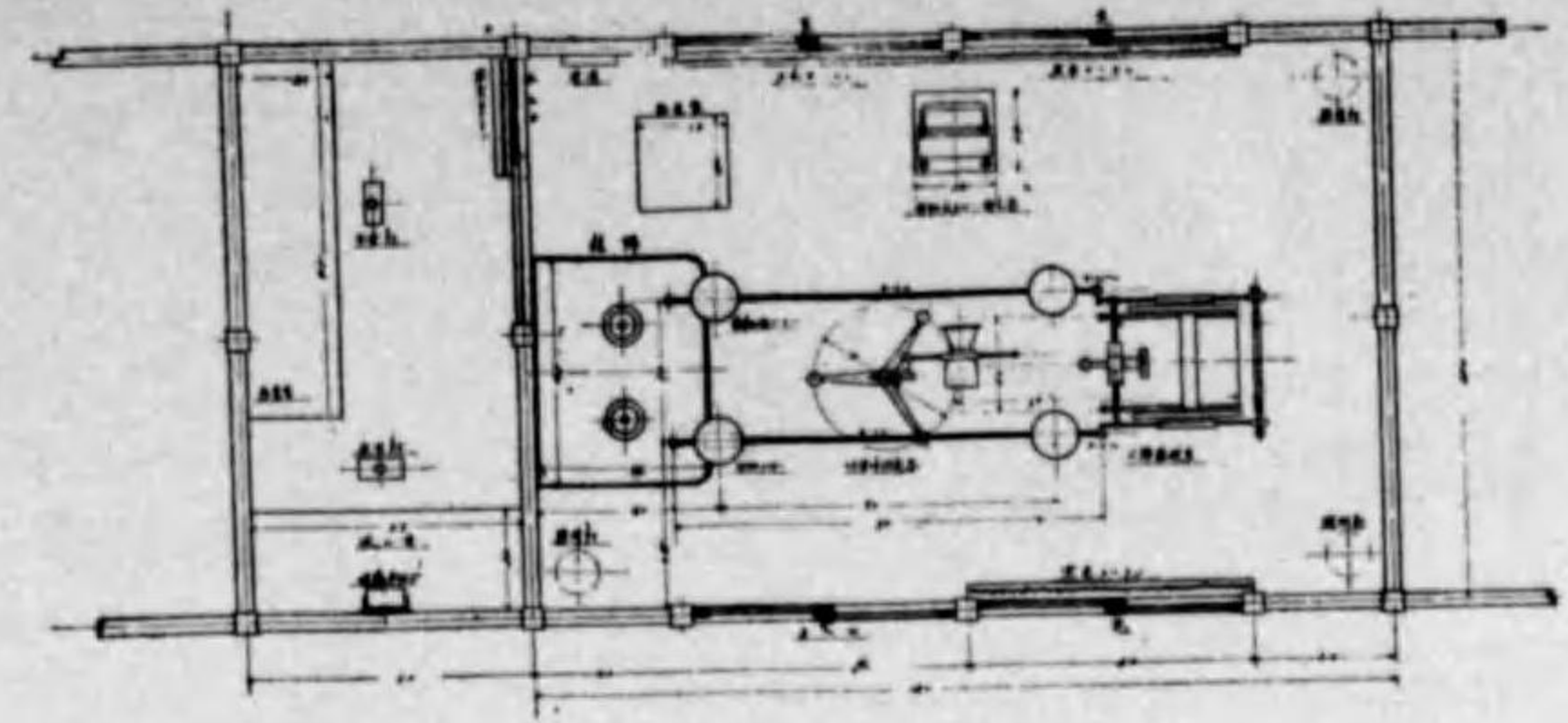
前例チュノーA號に診断の目的を兼ね行はしむるものより本例の如くチュノーB號を深部治療と診断の兩用とするが合理的なり。本例は深部治療用高壓管球保持器、B號透視装置を備へたるのみなれどもブッキーテーブル、リーダー氏立位撮影固定器を加ふれば更に便利なるべし。レントゲン寫眞現像用現像室を附したるものなれば寫眞撮影用附屬品を備ふべきは當然ならん。



27 柱號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

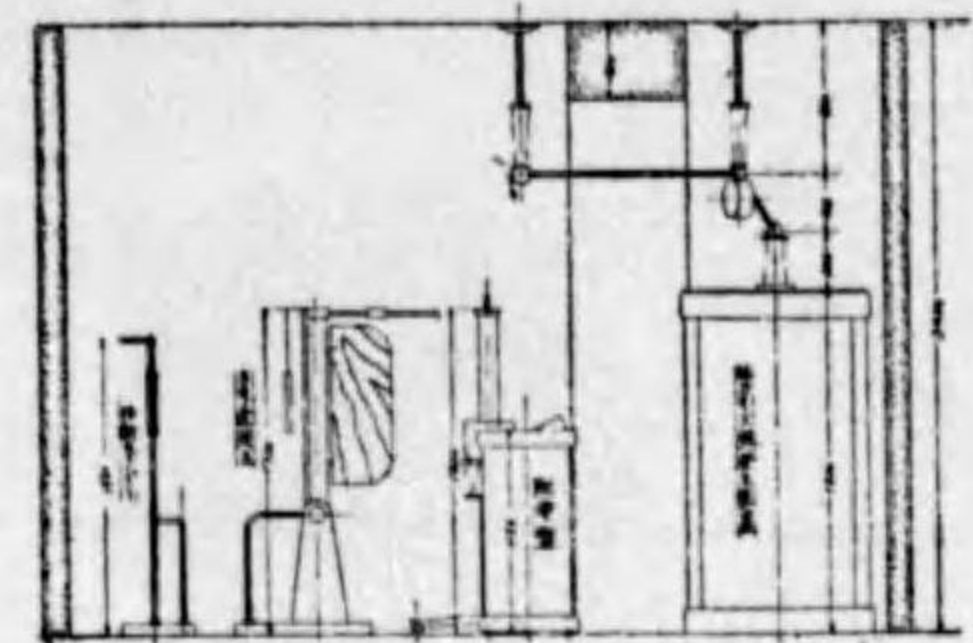
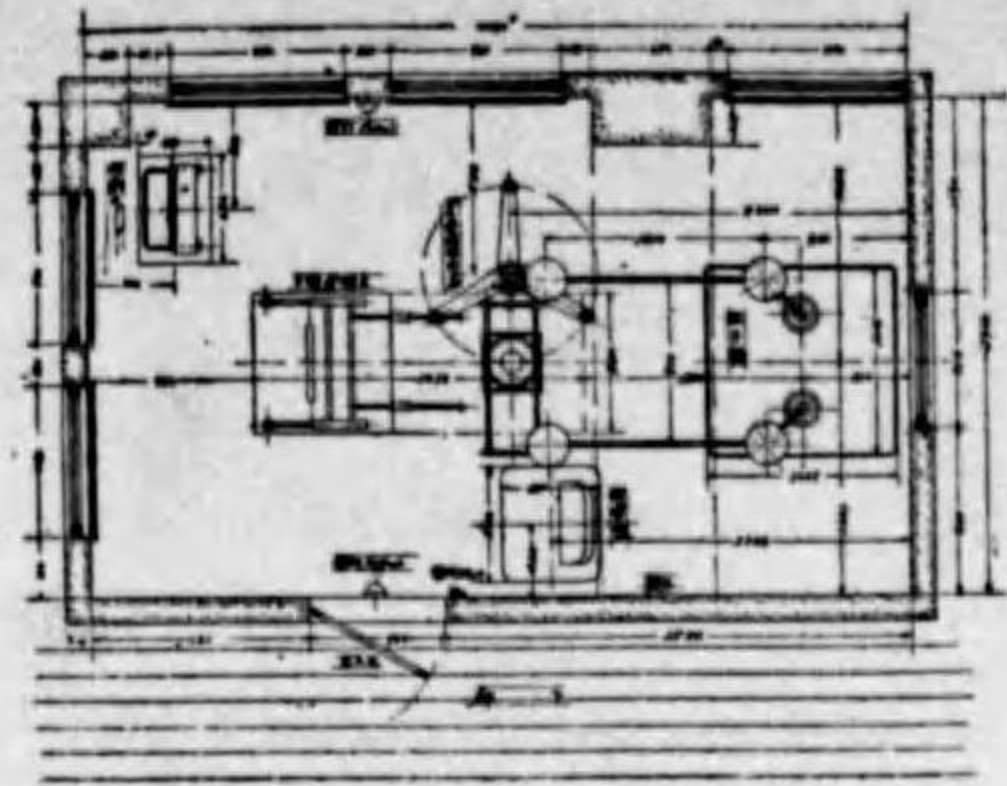
レントゲン寫眞撮影用の装置として三相交流用の平安號及愛宕號を除いては最も優秀なる成績を以て知られたる柱號レントゲン装置を据付けたる例なり。B號透視装置、ブッキータープル、移動式リーダー氏立位撮影固定器を備へ、寫眞現像室の設備もあり。現像室と診断室との間の壁には鉛板を張り透視装置より洩れ来るレントゲン線を防禦するの注意も必要ならん。此の隔壁には通話窓の設けあり診断室と現像室との通話に便じたり。



28 柱號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

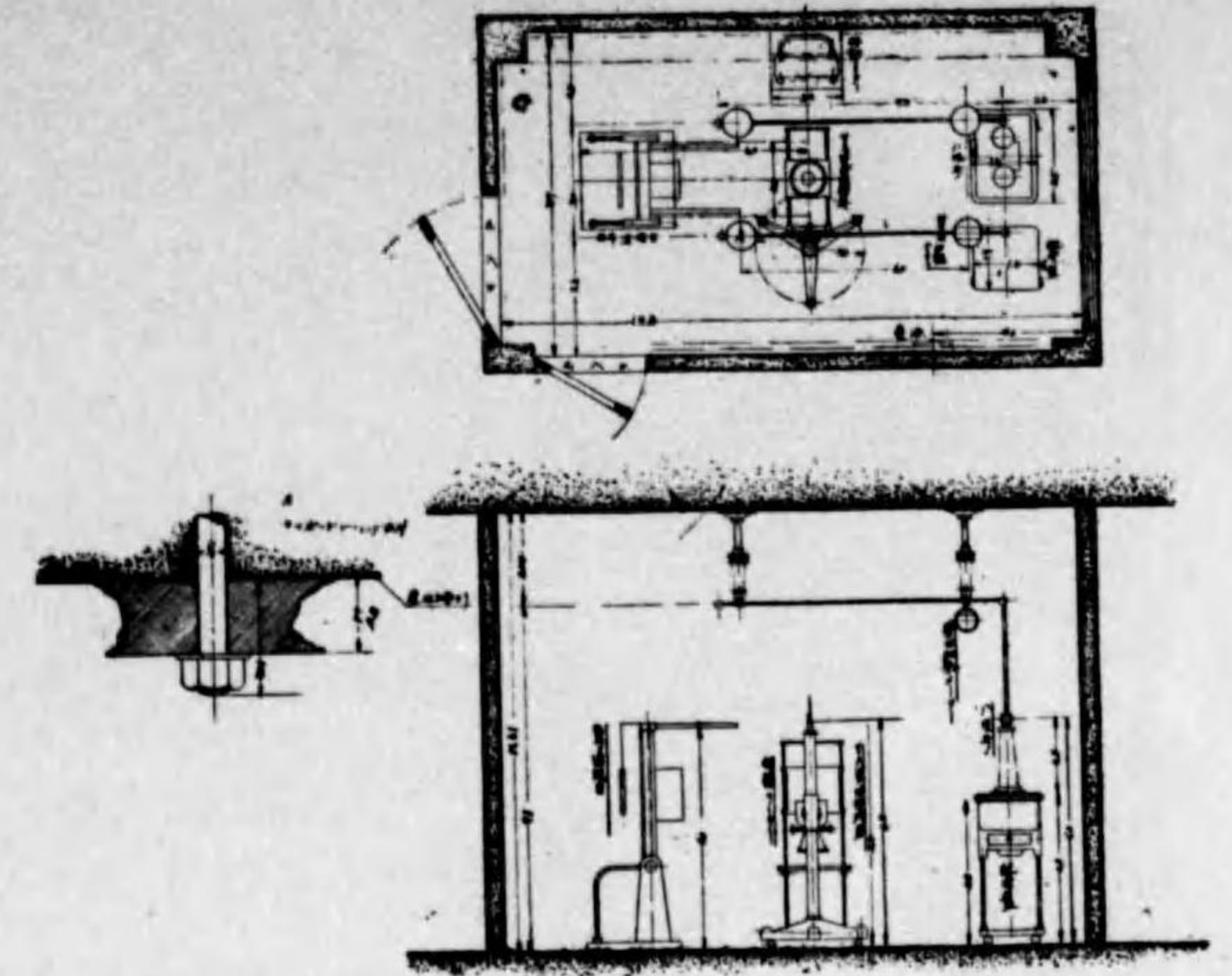
前例と同じく柱號レントゲン装置据付の例なり。前例と異なる所はブッキータープルを備へずVA型管球保持器のみさせる事、透視装置がC號透視装置なること等二三に過ぎず。寫眞現像室はレントゲン装置の背面にあり、前例に比較して或は此の位置の方が便利なる事もあるべし。



29 桂號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/40

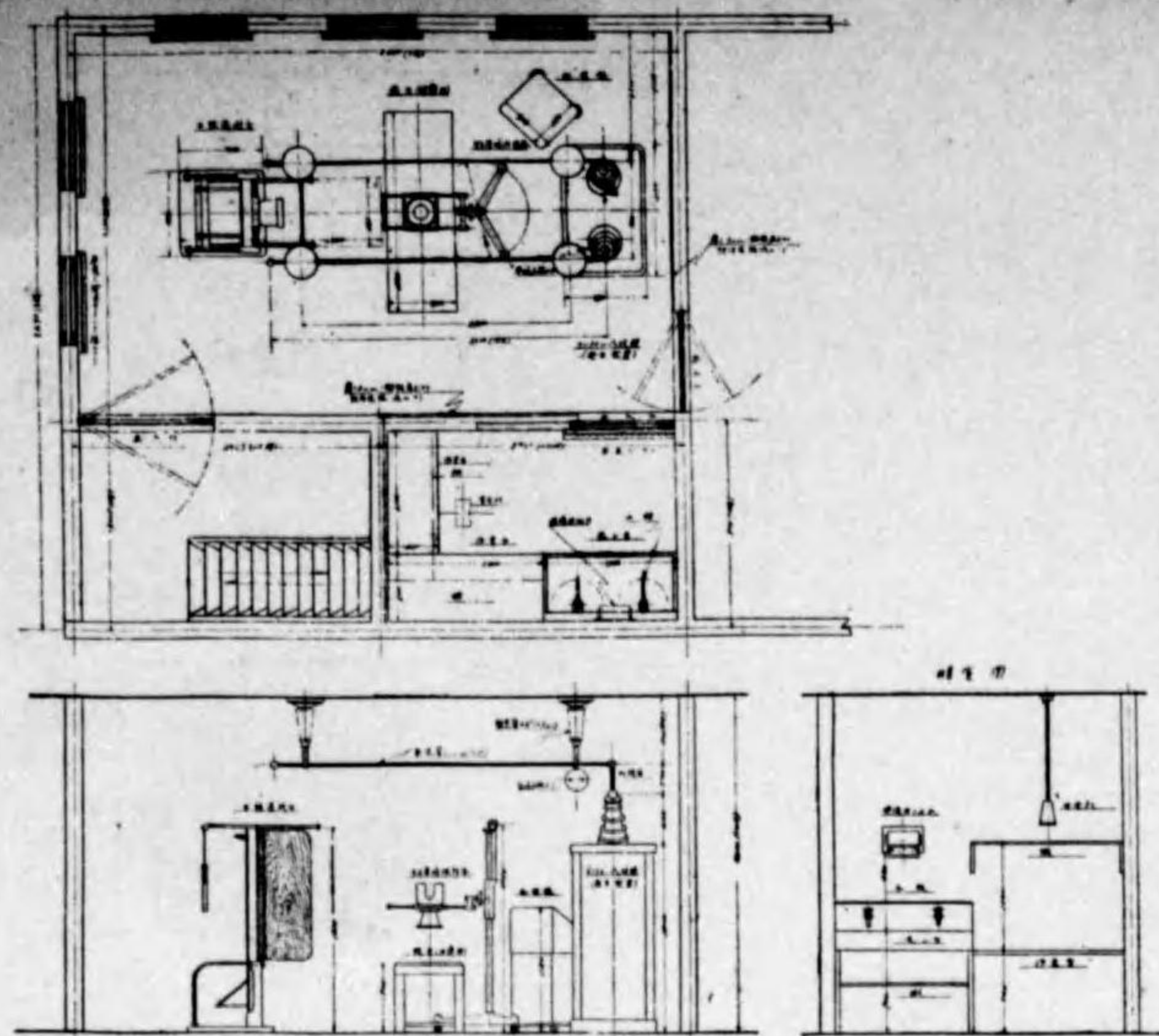
第二十七圖、第二十八圖に於ける桂號レントゲン装置と殆んど同様なる例なり
配電盤及び装置保護箱の形体は前二例とは異りたれど其他は殆んど同様なり。



30 八坂號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/40

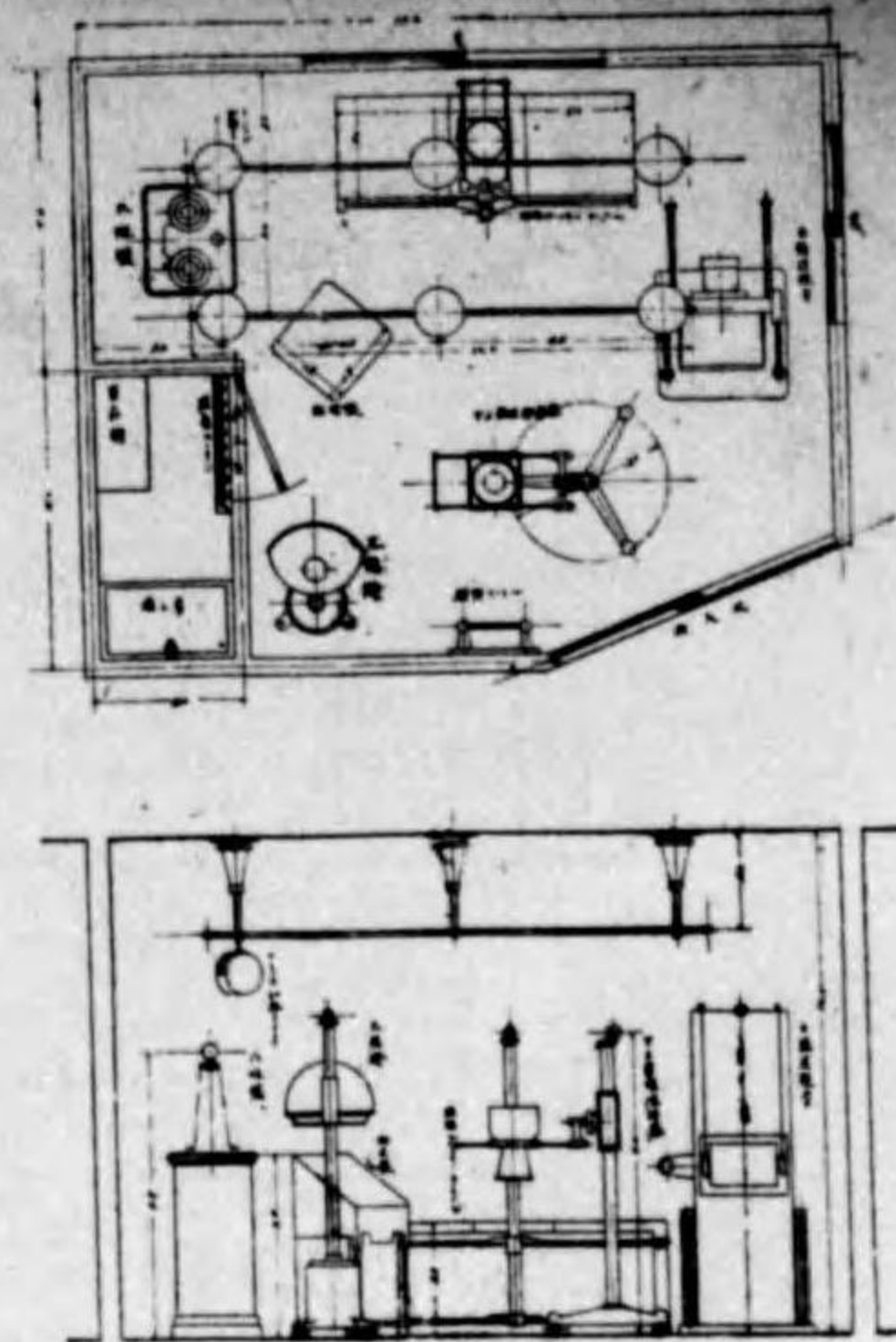
最も手頃なるレントゲン装置として賞用さるる八坂號レントゲン装置は標準的
診断用具たるB號透視装置VA型管球保持器及び移動式リーダー氏立位撮影固
定器との組合せになるものなり。 診断用レントゲン室として此の程度の
設備は最小限度とも謂ふべきものにて之に第三十六圖の寫眞現像室を附加すれ
ば恰好のレントゲン室なるべし。



31 特型八坂號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

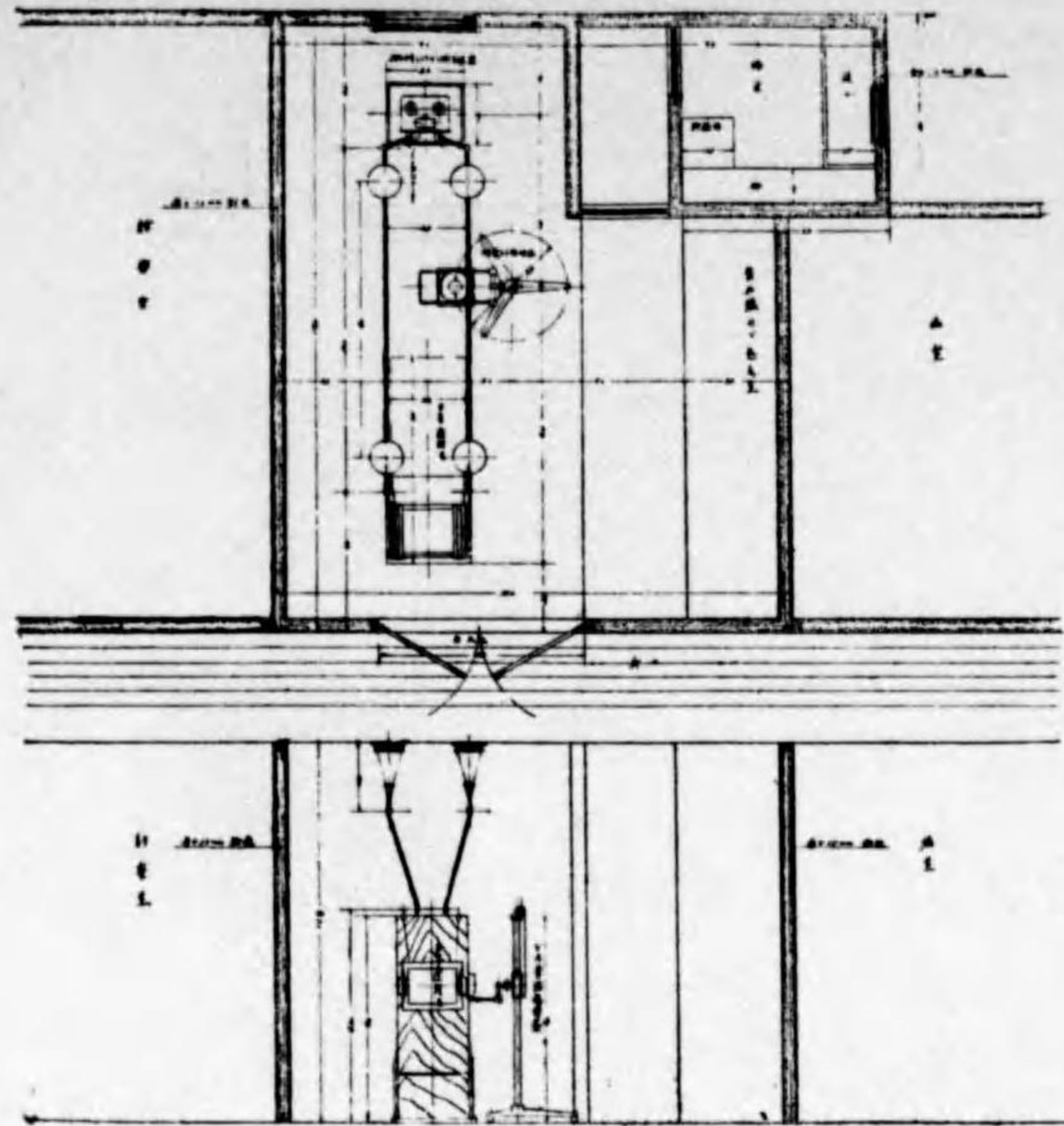
本例は八坂號レントゲン装置に整流管を附し保護箱を加へたるものにして異例なれども便宜上此處に掲げたるものなり。 B號透視装置、VA型管球保持器は標準附屬品として備へ、寫眞現像室をも設備せり。



32 八坂號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

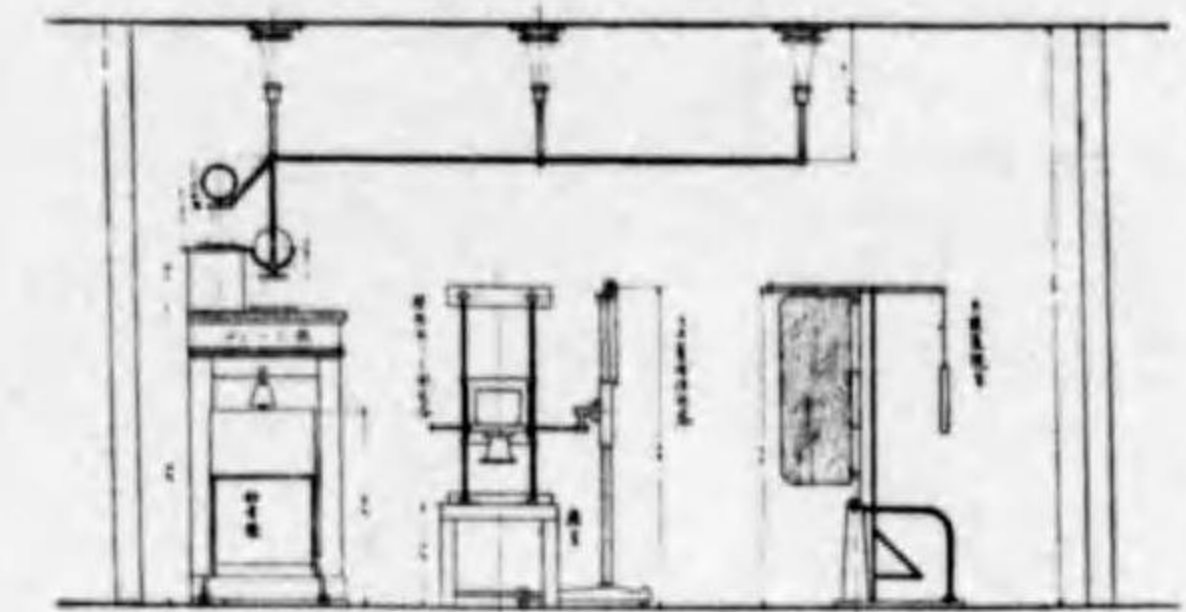
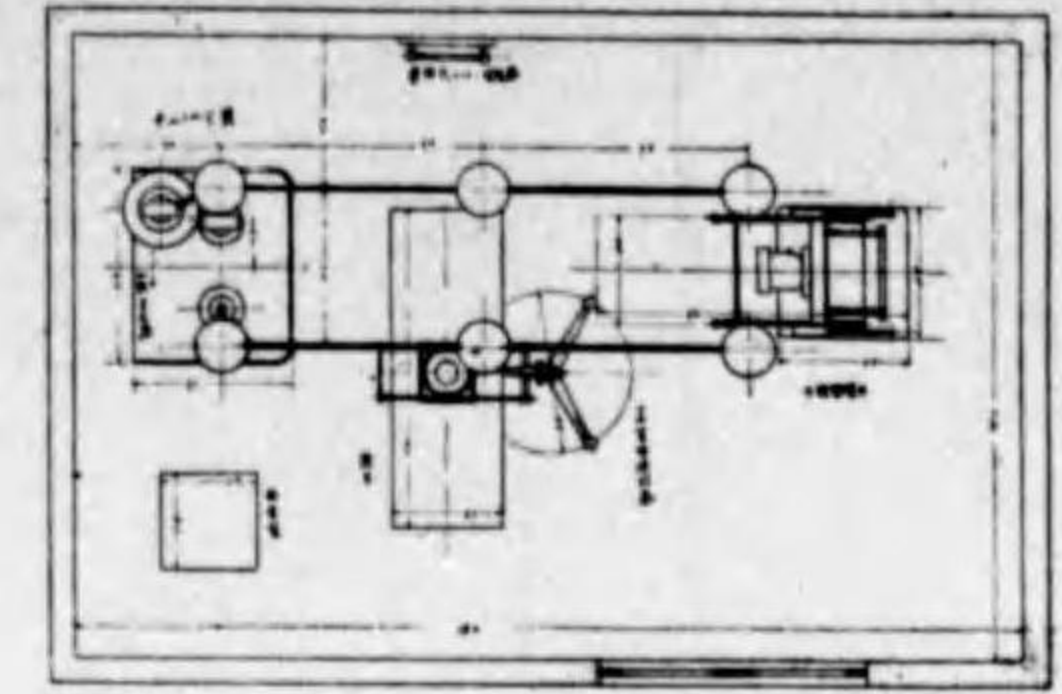
八坂號レントゲン装置据附の他の一例として掲ぐる本例は第三十圖にブツキーテーブルを加へ、リーダー氏立位撮影固定器を壁懸式としたものなれども太陽燈を置く餘地を空けたるため寫眞現像室は狭きに過ぎるものとなりし憾あり。室の都合上止むを得ざれども寫眞現像室としては第三十六圖程度の廣さは必要ならん。



33 スタルク號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 3/50

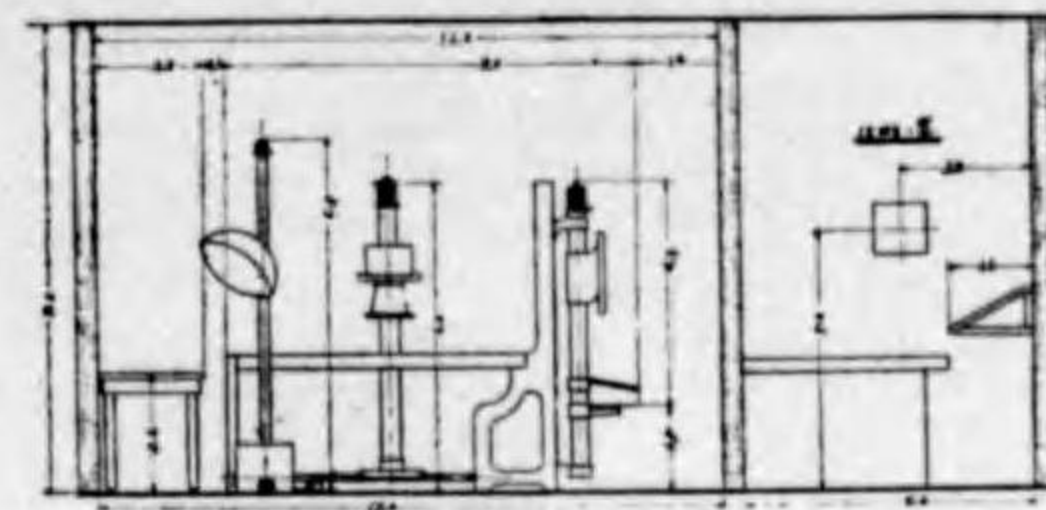
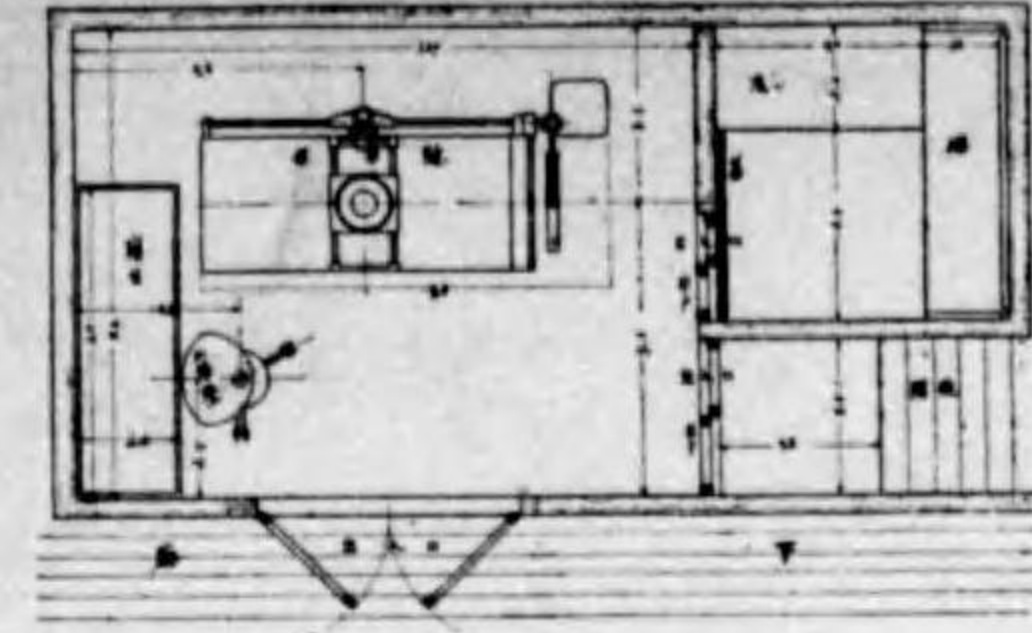
第三十圖に示せる八坂號レントゲン装置据附の状態をスタルク號と置き換へ寫眞現像室を加へたるものを見ることを得。リーダー氏立位撮影固定器も室内の何處かへ据へ付くべきものならん。



34 チュノーC號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 3/50

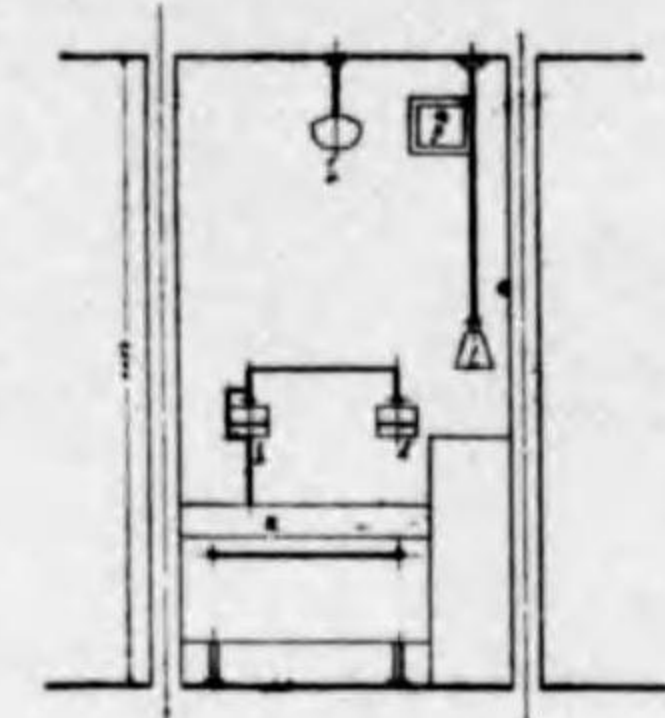
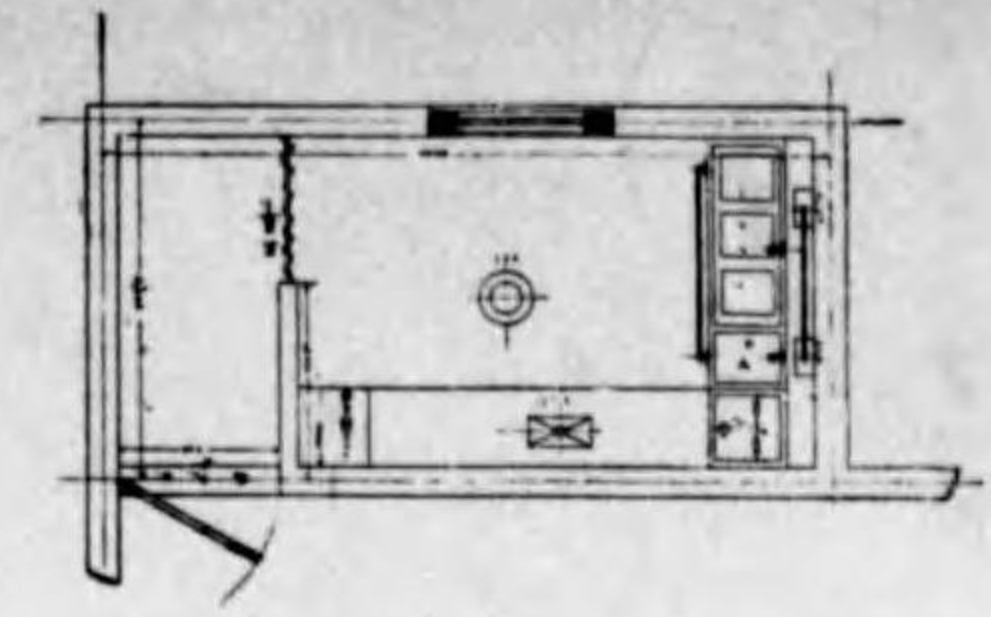
第三十一圖 特型八坂號レントゲン装置据附圖と大体同様なるチュノーC號レントゲン装置の据附圖なり。壁懸式リーダー氏撮影固定器を壁面に取付けて立位に於ける撮影に便せる外はB號透視装置、VA型管球保持器共第三十一圖と殆んど異りたる所なし。第二十圖、第二十一圖のダイアナ號レントゲン装置、第二十二圖、第二十七圖其他の各据附圖をも比較御参照願ひ度し。



35 保津號レントゲン装置

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

最小の占床面積にて足り且つ天井に高壓架空管を張り渡す必要なく實用的レントゲン装置として知られたる保津號レントゲン装置は圖に見る如き狭小なる室にも据附け得、猶ほ太陽燈をも併置し得る余裕あり。他の据付圖と比較研究願へば如何に簡單に据附け得らるゝかは一目にて瞭らかなるべし。



36 簡易なるレントゲン寫眞現像室

平面圖及側面圖 縮尺約 1/50

レントゲン寫眞現像室として最も簡單なる例なり。現像用の流し、水洗用のタンク、現像用タンク及び定着用タンク、作業台、フィルム貯藏箱、藥品戸棚等を設備せり。第十三圖に於ける現像室にはハンガー掛けを備へ、第十四圖に於けるものによりては診察室との隔壁にフマルム受授箱を作り。第二十七圖の例に於ては通話窓を取付け、寫眞觀察装置を置きたり。現像室内にラヂエーターを取付けて冬期の保温を計り(第二十二圖)或は現像室内の濕氣多き空氣を排出するための換氣窓に排氣電氣扇を取付ける(第十四圖)等の設備もあれば更に完全なる寫眞現像室となるべし。

レントゲン室据附圖集

定價 金貳圓五拾錢

昭和九年十二月二十日印刷
昭和十年一月二十日發行

複不
製許

京都市中京區西ノ京樂原町
株式會社島津製作所工場
編者 河本義夫
發行人

京都市中京區丸太町通小川西入
印刷人 阿部幸一

京都市中京區丸太町通小川西入
印刷所 株式會社 石田大成社印刷所
電話上四一〇五・四一〇六番

60-1331



1200501272799

終